

畏敬と敬神のうちに
礼拝する

Vol. 88, No.3

2012年7月-9月

目次

神をおそれること	5
神のみ名	10
神の御子を尊ぶ	15
神の御霊を決して悲しませてはならない	20
神のみ言葉を敬う	26
律法と証	31
神のご臨在	36
礼拝の家	41
安息日を聖別する	47
聖なるものと俗なるものを識別する	52
家庭の敬神	57
謙遜、忠誠、尊敬	62
敬神のうちに歩む	67

セブンスデーアドベンチス
ト改革運動世界総会安息
日学校部 (P.O.Box 7240
Roanoke, Virginia 24019-
0240, U.S.A)

安息日聖書教科 Vol.88, No.3

編集&発行:
S DA改革運動日本ミッション

〒368-0071
埼玉県秩父郡横瀬町芦ヶ久保
1607-1

TEL: (0494) 22-0465

FAX: (0494) 26-5059

URL:
<http://www.4angels.jp>

E-mail:
support@4angels.jp

イラスト: Illustrations: RF
123 on front and back
covers, p. 25; MapResources
on pp. 4, 46, back cover.

安息日聖書教科は、他のコメントをいっさい加えず、完全に聖書と証の書のみに基づいた毎日の研究プログラムです。引用文は、簡潔で直接的な見解を提供するために、可能なかぎり短くされています。ある部分では、明瞭さや、適切な前後関係、また読みやすさのために〔 〕の括弧が使われています。抜粋されている原文をさらに研究することをぜひともお勧めします。

まえがき

反逆がわたしたちの呼吸している空気そのものの中にあります。自己を喜ばせるといふ哲学が、わたしたちの時代の基調であるかのようです。心の冷たい皮肉やあからさまで頑なな悪がこれほどゆきわたっている時代に、かつては知られていた流行おくれの「目を見開くような純真さ」という資質は、今やほとんど消えかかっています。

敬神という概念は、今日の無頓着で自己中心的な態度とは正反対です。敬神は、愛と畏敬の混じった誉れとして定義されています。そこには、へりくだった子供のような感嘆が含まれており、それは今日神の民だと公言する人々の間でさえ非常に貴重でまれです。

今期の教科は、「畏敬と敬神のうちに礼拝する」という主題のもと、真の神の礼拝者たちの心から惜しみなくあふれ出るべき敬神と敬意という美しい恵みの理解を強め、拡張することを意図しています。わたしたちの主の驚くべき創造と贖いの力への畏敬と感嘆の深い認識力をもってはじめて、わたしたちはいにしへの聖なる男女の足跡に押し進み、自分たちの魂を永遠の栄光のために準備することができるのです。

「ある人々は、人が神の裁きについて健全な恐れを抱くとき、それが信仰に欠けている証拠だと考えているようである。しかし、そうではない。

神の警告を信じる健全な神への恐れは、おののく魂をイエスに逃れさせることによって義の平和な実を結ばせる。多くの人々は、今日この精神をもつべきであり、へりくだった悔悟の念を抱いて主に立ち返るべきである。なぜなら、神のみ言葉の中で非常に厳しい裁きを宣告しているこれほど多くの恐るべき警告は、単に記録するために与えられたのではなく、本気で言っておられるからである。」(SDA バイブル・コメント [E.G. ホルツ・コメント] 6 巻 1100)

「どのようにして献身的な愛をもって敬神と信心深い畏れのうちに神のみ許へ来るかについて、知的な知識があるべきである。わたしたちの造り主への敬神の欠如が増し、このお方の偉大さと大能への軽視が増している。しかし、神はこの終わりの時代にわたしたちに語りかけておられる。わたしたちはあらしの中に、雷のとどろきの中にこのお方のみ声を聞く。神が地震や洪水や破壊の要素が目の前にあるものを一切さらっていくのを許される災害について聞く。大嵐の大洋に船が沈んでいくのを聞く。神はご自分を認めることを拒んできた家族に語りかけておられる……

つむじ風や岩をその場所から移してしまう嵐に続く静かな細い声が聞こえるとき、すべての人は顔を覆いなさい。なぜなら、神が非常に近くおられるからである。彼らにイエス・キリストのうちに身を隠させなさい。なぜなら、このお方が彼らの隠れ場だからである。主がその僕に言われることを聞くために、へりくだった探求者が頭を垂れた態度で待っている間、岩の避け目は主ご自身の刺し通されたみ手をもって覆われる。」(ヘレゲッド・メッセジ 2 巻 315, 316)

世界総会安息日学校支部

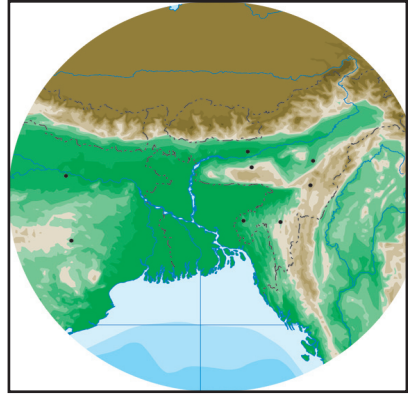
第一安息日献金

インド

ナガランドの礼拝堂のために

ナガランドは、インドの北東のはずれに位置し、ほとんどが山に覆われ、自然の美があふれています。人口の 90% 以上がクリスチャンです。

ナガランドの人々は、インド・モンゴル系の人々で心が温かく、もてなしの心が非常に厚い人々です。キリスト教は、この地に 1841 年に入りました。



現代の真理は、1970 年代初期にインドにおける働きが始まって以来、ここで広く伝えられてきたにもかかわらず、容易に受け入れられませんでした。なぜでしょうか。州人口の 95% 以上がキリスト教に従っているという統計から推測できるように、それが彼らの従う伝統的な見解であり、狂信者のように熱烈な熱心さをもって従っているのです。ですから、世紀が変わるときまで、実りは見られませんでした。継続的な働きの数年後、数名の求道者を見出すことができ、そして今はいくつかの集会所や教会が設立されました。これらの集会や教会はほとんど、個人の家庭や賃貸の場所で集会をしています。今こそ主のための記念碑を設立するべき時です。

靈感の筆は、わたしたちに次のように述べています。「あなたがたはまもなく神に礼拝するために集まる場所がなくなるであろう。わたしたちは目覚めて建てるべきであろうか。主はあなたがたに惜しみなくあつてほしいと望まれる。マケドニアの諸教会の教会員たちは非常に貧しかったが、それでも彼らは使徒たちに強いて自分たちの自由献金を受け取らせ、彼ら自身よりもっと困窮していたエルサレムの聖徒たちを助けるために、自分たちの力を超えて捧げたかったのである。わたしたちにはこの記録、わたしたちを教えるための教訓がある。」(レビュ・アンド・ヘラルド 1894 年 9 月 4 日)

イスラエル人が幕屋の建物のために捧げることを命じられたとき、自分たちが主から受けてきた祝福を喜んで自ら捧げました。わたしたちは主が備え、わたしたちにゆだねてこられた資金に従って、神のみ旨の具体的な内容を理解するとき、神の満たしと「主の恵みふかきことを味わい知」ることを通して(詩篇 34:8)、自分たちの捧げ物をあふれさせることができます。

わたしたちナガランドの信徒は、主のための聖なる宮を建設するこの事業の資材が与えられるよう、皆さんの資金と祈りを通して惜しみない自発的な支援をお願いいたします。皆さんのやさしい支援をあらかじめお礼申し上げます！

ナガランドから皆さんの兄弟姉妹より

神をおそれること

「神をおそれ、神に栄光を帰せよ。神のさばきの時がきたからである。天と地と海と水の源とを造られたかたを、伏し拝め」(黙示録 14:7)

「エホバは真の神であられる。このお方をおそれ、崇敬せよ。」(ポールソン・コレクション 276)

推奨文献： ミニストリー・オブ・ヒーリング* 427-438

日曜日

7月1日

1. 全能なる創造主

- a. 創造のどの面が、わたしたちに神へのおそれを吹き込むべきですか(詩篇 96:4, 5; 139:14; 黙示録 14:7)。

「自然が豊かな収穫を实らせ、太陽の周りを回り続けるのは、自然の中にもともと受け継いだ力によるのではない。無限の力の御手が、絶え間なく働き、この星を導いているのである。その回転の中の正しい位置に保っているのは、毎瞬働いている神のみ力である。」(教会への証 8 卷 260)

「人体構造を完全に理解することはできない。それは最も知恵のある人でも当惑するほど神秘である。脈をうち、呼吸を繰り返すのは、ある機械が一度運転を始め、その働きが継続するようなくみによるのではない。人間は神によって生き、動き、存在する。生物の身体の中に鼓動する心臓、脈、あらゆる神経、筋肉はつねに存在しておられる神の力によって秩序を保ち、活動を続けているのである。」(ミニスト・オブ・ヒーリング* 391)

- b. わたしたちの知恵を、どのように神の知恵と比較することができますか(コリント第一 1:20, 21, 25-31)。わたしたちはどのように真の知恵を得ることができますか(ヨブ 28:28; 詩篇 111:10)。

「最も知性にすぐれた人々も自然の中に明らかにされているエホバの奥義を理解することはできない。……神の裁きと目的は測りがたい。このお方の知恵は窮めがたい。」(教会への証 8 卷 261)

2. 天の態度

- a. 預言者に与えられた幻によれば、自分たちの創造主に対して天の存在者たちが表した態度は、どのようなものですか（イザヤ 6:1-3; 黙示録 4:8-11）。

「み座の前のセラピムは神の栄光を見ていて、うやうやしい畏敬の念に満たされているので、彼らは自己満足の思いで自分を見たり、自分や互いを称賛する思いで見たりすることは一瞬もない。彼らの讃美と賞賛は高く上げられた万軍の主のためであり、その衣のすそが神殿に満ちているお方へのものである。彼らは、全地が神の栄光で満ちる未来を見て、讃美の勝ち歌が豊かな旋律の聖歌の中で次々に反響する、『聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな、万軍の主』。彼らは神に栄光を帰すことに満足しきっており、神のご臨在の中で、神の是認のほほ笑みの下、彼らにはそれ以上望むものは何もない。神のみかたちを身につけて、神に仕え、神を礼拝することによって、彼らの最高の大望は完全に達成されている。」（SDA バイブル・コメント [E.G. ホバ・コメント] 4 巻 1140）

- b. 預言者エゼキエルへの幻に示されたように、神の支える力について、わたしたちは何を学ぶことができますか（エゼキエル 1:8）。

「エゼキエルの幻の中で、神はケルビムの翼の下にみ手をもっておられた。これは、彼らに成功を与えるのは神の力であることを、ご自分の僕たちに教えるためである。もし彼らが罪を捨て、心と生活が清くなるならば、神は彼らと共に働かれる。エゼキエルの見た、稲妻の速さで生き物の間を行き来する明るい光のような天の使者たちは、このみわがが最後に完成へ向かって前進する速さを表している。まどろむことなく、ご自分の計画を成し遂げるために絶えず働いておられるお方は、その偉大なみわがを調和させながら進展させることがおできになる。有限な心には、もつれて複雑に思えることでも、主の御手は完全に秩序を保つことがおできになるのである。……

神はすべての人をよくご存知である。もしわたしたちの目が開かれるならば、わたしたちの世界に永遠の正義が働いているのを見ることであろう。人間の支配下にならない強力な影響力が働いている。人間は、自分が事態を統制していると思い込んでいるかもしれないが、人間の影響力よりも高いところで働いている者たちがいる。」（同上 1161）

3. 人類の状態

- a. 天の協力的な雰囲気とは対照的に、主は地上の状態をどのように描写しておられますか（エゼキエル 2:4（前句）；ローマ 3:10-19）。

「サタンの誘惑によって全人類は神の律法を犯す者となった。」（人類のあけぼの上巻 399）

「もしアダムが創造されたときに、今の人が持っている活力の 20 倍ほどを授けられていなかったならば、人類は、自然の法則を犯した現在の生活習慣では、絶え果ててしまっていたことであろう。」（教会への証 3 巻 138, 139）

- b. 態度におけるどのような問題が今日増大していますか。また、まじめなクリスチャンは、どのようにしてそれらに影響されることを避けることができますか（テモテ第二 3:1, 2, 5; ローマ 16:17）。

「終わりの時に向かって、神の律法に従っていると公言する民の間に混乱と反逆を引き起こすために人々は立ち上がるであろう。」（SDA パイプ・コメント [E.G. ホット・コメント] 4 巻 1158）

「反逆と背信がわたしたちの呼吸する大気そのものにある。信仰によってわたしたちの無力な魂がキリストにすがりつかない限り、わたしたちはそれに影響されるようになる。」（同上 1 巻 1114）

- c. 愛されたヨハネは、愛について、どのように説明していますか（ヨハネ第一 3:4, 7-10; ヨハネ第二 9-11）。

「われわれは、キリストのうちにとどまっていると主張しながら、神の律法を犯す生活をしている人々に対して、愛されたヨハネと同じ判断をする権威を認められている。初代の教会の繁栄をおびやかしたような悪が、この終わりの時代にも存在する。ゆえに、こうした点についての使徒ヨハネの教えを、慎重に心にとめていなければならない。「愛がなければならない」は、どこででも聞かれる叫びである。特に、きよめられたと言っている人たちから聞かれる。しかし、真の愛は純粋であって、告白されていない罪をおおひ隠すことはできない。キリストが身代わりとなられた魂を愛しているかぎり、悪と妥協しないようにしなければならない。われわれは反逆者と手を結んで、これを愛と呼ぶべきではない。神は現代の世界にいる神の民たちに、ヨハネが魂を破壊する過ちに反対して立つたように、正義のために断固として立つよう要求されている。」（患難から栄光へ下巻 258）

4. 人の傾向に打ち勝つ

- a. 神の子だと公言するすべての人々に、研究と言葉において、どのような勧めがなされていますか（詩篇 105:1-5; コリント第一 10:1-5）。

「〔コリント第一 10:1-5 引用〕。使徒がこれらの言葉をもって言及し、また詩篇 105 篇と 106 篇の中に記録されているイスラエルの経験は、この終わりの時代の神の民が特別に研究する必要がある警告の教訓を含んでいる。わたしは、これらの章を一週間に最低一回は読むことを強く勧める。」（牧師への証 98, 99）

「もしわたしたちの経験の中に暗い章があるなら、それらを繰り返すことによって記憶を生々しく保たないようにしなさい。後ろのものを忘れ、前のものに向かって押し進もう。感謝と讃美を生むような思想や感情だけを培いなさい。もしあなたが不当に扱われたなら、それを忘れて、イエスの大いなる憐れみ、愛に満ちた優しさ、言い尽くせない愛だけを考えなさい。非難するよりも讃美することを学びなさい。もしあなたが侮辱や虐待に直面しても、失望してはならない。なぜなら、イエスも同じ経験にあわれたからである。自分の働きを忠実に果たしながら、前進しなさい。思いに尊い神のみ言葉の約束を蓄えなさい。そして、しばしばそれらを繰り返すことによって、このお方との芳しい交わりを保ちなさい。いらだちを止め、つぶやきを止め、あら探しを止めなさい。そして、あなたの心のうちに神への旋律を奏でなさい。あなたが感謝すべきことをみな考え、それから、神を讃美することを学びなさい。『感謝のいけにえをささげる者はわたしをあがめる（感謝をささげる者は神に栄光を帰す）』（詩篇 50:23）。

もしわたしたちの嘆き、いらだち、つぶやきが記録の書に記されているとおりにわたしたちの前に提示されたら、なんという光景を見ることであろう！わたしたちは自分たちの本当の思想や感情—不幸なつぶやき以外のなにもでもないこと—を見て理解し、どれほど驚くことであろう。」（サイン・オブ・タイムズ 1883 年 9 月 27 日）

- b. 今日どのような種類の恐れが必要とされていますか（イザヤ 51:12, 13; マタイ 10:28）。

「今日、キリストの弟子たちは、神を恐れかしこむ精神を失わないように、気をつけていなければならない。」（国と指導者上巻 22）

「神は今日、ナタン、エリヤ、ヨハネのように、恐れることなく、結果に関せず、ご自分のメッセージを担う人々を召しておられる。真理を語る者、すなわち自分の持っているものをことごとく犠牲にすることになっても、そうする者を召しておられる。」（福音宣伝者 150）

5. 神へ改心した反応

- a. 歴史上、礼拝が神に受け入れられた人々の態度から、何を学ぶことができますか（エズラ 9:5, 6; エゼキエル 1:28; エペソ 3:14）。

「神が昔、仕えたり、伝達したりするために、ご自分の御使たちを個人個人に遣わされたとき、これらの人々は自分たちが会って話しているのが御使だったことがわかると、畏敬の念に打たれ、死ぬのではないかと恐れた。彼らは神の恐るべき大権と力について非常に高い見解を得たために、神の聖なる御前から直接来た者と密接な接触へ導かれたことによって、滅びるのではないかと思った。」（教会への証 1 巻 410）

- b. 神の真の民と、宗教的な危機における二心の公言者の間の相違を述べなさい（黙示録 3:14–19; マタイ 24:42–50）。

「わたしは、深い信仰と苦悶の叫びをあげて、神に嘆願している人々を見た。彼らの顔は青ざめ、深い憂いの色を帯びていて、彼らの内的苦闘を表していた。その表情には、堅忍不拔の精神と非常に熱心さがあらわれていた。……」

「ある人々は、この苦闘と祈りに加わらないのをわたしは見た。彼らは、不注意で無関心なように見えた。……悪天使たちに抵抗するために全力をあげて闘い、忍耐強く神を呼び求めて努力しているすべての者を助けるために、神の天使たちが急いでいくのをわたしは見た。しかし、神の天使たちは、自らを助けようと努力しない人々を去った。そして、わたしは彼らを見失ってしまった。」

わたしは、わたしが見たふるいの意味をたずねた。そして、それは、ラオデキヤ教会へのまことの証人の勧告が生じさせた率直なあかしによるものであることを、わたしは示された。」（初代文集 437, 438）

個人的な復習問題

1. 神のどの面が、最高の畏敬と敬神をわたしたちに吹き込むべきですか。
2. この終わりの時代のためのエゼキエルの幻の重要性を述べなさい。
3. わたしたちは広く行き渡っている不敬に対して、どのように自ら防備を固めることができますか。
4. 神の御目に、適切な恐れと不適切な恐れの違いを述べなさい。
5. わたしたちはまことの証人のラオデキヤへのメッセージに対して、どのように反応すべきですか。

神のみ名

「そのみ名は聖にして、おそれおおい。」(詩篇 111:9)

「そのみ名を語るとき、天使たちは彼らの顔をおおうのである。もしそうであるならば、墮落した罪深いわれわれは、どんな崇敬の念をもって、それを、われわれの口にしなければならないことであろう。」(国と指導者上巻 23)

推奨文献：祝福の山 81-85

日曜日

7月8日

1. 神のみ名の意味

- a. 神はご自分のみ名をモーセにどのように表現さいましたか。また、これはわたしたちにとってどのように意味深いですか (出エジプト記 3:13-15)。

「わたしは有るというのは、永遠の存在を意味する。過去、現在、未来は神にとってはみな同じである。神は過去の歴史の最も遠い出来事と、はるか遠い先の未来を、わたしたちが日々の出来事を見るのと同じくらいはつきりとご覧になる。わたしたちには自分たちの目前にあることがわからない。もしわかったとしても、それが永遠の幸福な生活に貢献することはない。神は、有って有る偉大なお方に、わたしたちが信仰を働かせて信頼する機会をお与えになる。」(SDA バイブル・コメンタリ [E.G. ホワイト・コメント] 1 巻 1099)

- b. 永遠のお方に言及して表現される言葉が何であろうと、このお方とこのお方のみ名について、わたしたちは何を悟るべきですか (詩篇 99:1-3; 111:9; エレミヤ 10:6, 7)。

「多くの人々が、偉大なるエホバなる神のみ名を用いてきた不遜な方法に、聖天使たちは不快を覚え、嫌悪を覚えてきた。」(教会への証 1 巻 410)

「決して神の称号や名称を軽々しく取り扱ってはならない。」(祝福の山 133)

2. 気をつけるべき

- a. 十誡の第三条において、神がわたしたちに与えてこられた原則の深さを説明しなさい（出エジプト記 20:7）。

「〔出エジプト記 20:7 引用〕。この戒めは、偽証や日常のののしりの言葉を禁じているばかりでなく、そのおそるべき意味も考えないで、神のみ名を軽々しく、あるいは不注意に使うことを禁じている。日常の会話において、神について無思慮に発言することや、ささいなことを神に訴えることや、神のみ名を、幾度も無思慮にくりかえすことなどは、神のみ栄えを汚すことになる。『そのみ名は聖にして、おそれおい』（詩篇 111:9）。神のとうといご品性についての観念が心に印象づけられるように、だれもが、神の尊厳と純潔と神聖さとを瞑想すべきである。そして、彼の清いみ名は、うやうやしく厳粛に口にすべきである。」（人類のあけぼの上巻 357）

- b. 創造主とそのみ名について、多くの自称信徒たちは、何を悟りませんか（ヘブル 10:31）。

「主のみ名をみだりに唱える人々は、生ける神のみ手に陥ることは恐るべきことであることを見出すようになる。」（今日のわたしの生涯, 282）

「御使たちは、〔神の〕聖なるみ名を最大の畏敬の念をもって述べ、いつでも神のみ名を語るときには自分たちの顔を覆う。そしてキリストのみ名は彼らにとって非常に聖なるものなので、最大の敬神を持って語るのである。しかし、1854 年の時の運動に伴った精神と感化とは、いかに反対であったことであろう。いまだに同じ感化力の下にいる人々は、神について、馬か他の何か通俗的なものについてであるかのように語る。彼らは祈りの中で、全能なる神という言葉で、実に通俗的で不遜な態度で用いる。そうする人々は、神やキリストや天の事物の高められたご品性の観念が少しもないのである。」（教会への証 1 巻 410）

「わたしは、父なる神を取りまいてる栄光から照り出でる光を見た。そして、その光がわたしに近づいたとき、わたしの体は、木の葉のようにふるえ動いた。わたしは、その光がわたしの近くに來るならば、わたしは、それに打たれて消え去ってしまうだろうと思ったが、それは、わたしを通り過ぎて行つた。その時、わたしは、われわれとかかわりのある神の偉大さと恐ろしさを自覚することができた。また、わたしは、ある人々が神の神聖さについて、まことにかなしみか持っていないことと、彼らが、大いなる恐るべき神であることをも考えずに神の神聖で尊ぶべきみ名をみだりに口に唱えていることを知った。」（初代文集 148）

3. 祈りの中で神を呼ぶ

a. 祈りの中で、わたしたちは天父をどのように呼ぶべきですか (マタイ 6:9)。

「主のみ名をあがめるためには、わたしたちは、神に畏敬の念をもって語らなければならない。『そのみ名は聖にして、おそれおおい』(詩篇 111:9)。

……祈りをささげる時、わたしたちは至高者の謁見室にはいるのである。わたしたちは聖なるおそれをもって神のみ前に出るべきである。……

このみ名は、天使たちや堕落したことのない諸世界の人々によってあがめられている。あなたがたが、『御名があがめられますように』と祈る時、あなたがたは、それがこの世において、また、あなたがたによってあがめられるようにと求めるのである。神はあなたを人々や天使たちの前に、ご自分の子としてお認めになった。『あなたがたに対して唱えられた尊い御名』を汚すことのないように祈ることを望むのである。神はあなたがたを神の代表者として世におつかわしになる(ヤコブ 2:7 参照)。(祝福の山 133, 134)

b. わたしたちが避けるべき不遜な祈りの習慣をいくつかあげなさい(マタイ 6:7, 8)。

「多くの人々は、祈るときに、あわれみ深い主の霊を悲しませ、彼らの願いを天から閉め出すような不注意で不敬虔な表現を用いる。」(初代文集 148)

「家族の祭壇の周囲にひざまずく人々は、神に語るときに、自分たちの顔を椅子の近くにさげて手の中に入れてしまってはならない。頭をあげて、聖なる畏敬の念をもって自分たちの天父に語り、はっきりと聞こえる調子で言葉を述べなさい。」(教会への証 6 巻 381)

「神のみ名に対しても…崇敬の念を示さなければならない。神のみ名を軽々しく考えなしに口にしてはならない。祈りの中においてさえ、神のみ名を不必要に幾度もくりかえすことは避けるべきである。」(教育 288)

「神の聖なるみ名は、尊敬と畏敬の念をもって用いなければならない……。全能と神という二つの言葉を一緒にして、それを祈りの中で、軽々しく、不注意に用いる人があるが、神は、それをお喜びにならない。このような人々は、神や真理について、ほんとうの事がわかっていない。さもなければ、彼らは、やがて最後の日に彼らをお裁きになる大いなる恐るべき神について、このように不敬な言葉を用いまいであろう。『神のみ名は、恐るべきものであるから、この言葉を一緒にしてはならない』と天使は言った。神の偉大さと威光とを自覚する者は、聖なる恐れをいだきつつ、その御名を口にするのである。神は、近づくことができない光の中に住んでおられる。彼を見たものは、だれでも生きていることはできない。わたしは、教会が繁栄するに先だって、こうしたことをよく理解して、それを正す必要があることを示された。」(初代文集 227, 228)

4. 誓いをする

- a. 誓いをするに関して、イエスはマタイ 5:34 と 26:63 (前句) の中で、イエスはどのような区別を明確にされましたか。

「ユダヤ人は、第三の戒めは、神のみ名を冒瀆(ぼうとく)的に用いることを禁じたものであると理解していたが、自分たちはほかの誓いの言葉は自由に用いてよいと考えていた。誓いを立てるのは彼らの間で普通のことであった。偽って誓うことはモーセを通して禁じられていたが、彼らは、誓いによって課せられる義務から免れるためにいろいろな工夫をこらしていた。彼らは巧みに律法の網の目を避けてのがれることのできるかぎり、真に冒瀆的なことをあえて行なうのを恐れはしなかったし、偽りの誓いからしりごみすることもしなかった。

イエスは、彼らの誓いの習慣は神の戒めを犯すものだと言って、その風習を非難された。しかし救い主は、語ることがすべて真実で、真実以外の何物でもないことを厳粛に神にかけて誓う裁判の際の誓いを禁じられたのではない。」(祝福の山 82)

- b. イエスは、どの基本的な原則をお教えになりましたか。また、わたしたちの日々の生活に、どのような意味を持っていますか (マタイ 5:37)

「イエスはさらに進んで、誓いを立てることが不必要になる原理を規定なさった。イエスは真実そのものが話の法則となるべきことをお教えになった。『あなたがたの言葉は、ただ、しかし、しかし、否、否、であるべきだ。それ以上に出ることは、悪から来るのである』(マタイ 5:37)。

このことばは、冒瀆に近い無意味なことばやののしりの言葉をすべて非難している。また、一般社会や実業界の常である心にもないお世辞や、真実の回避や、へつらいのことばや、誇張や、商売上のうそなどを非難している。このことばはまた、自分を実際以上に見せかけようとしたり、本心を伝えないことばを口にしたりする者は誠実とは言えないことを教えている。

もしキリストのこのことばに注意が払われるなら、悪意のある推量や不親切な批判はひかえることであろう。というのは、一体だれが、他人の行動や動機について語るときに、真実そのものを語っているという確信が持てようか。高慢や怒りや恨みなどが異なった印象を与えることがどんなに多いことだろう。ちょっとした目つきや一つのことば、あるいは声の抑揚でさえ、偽りをにおわすことができるのである。事実でさえ、言い方によっては誤った印象を与えるのである。真実『以上に出ることは、悪から来るのである』(祝福の山 84)

5. このお方のみ名に栄光を帰す

- a. わたしたちはどのように神のみ名に栄光を帰しますか（詩篇 96: 8, 9; 黙示録 15:4）。

「祈る人々、また語る人々は、自分たちの言葉を適切に発音し、明白にはっきりと落ちついた口調で話さない。……祈りは、それを口にする人々の声に欠点があるため、あるべきかたちになっていない。サタンは神に捧げられる祈りがほとんど聞こえないとき喜ぶ。神の民はどのようにして自分たちの所有している偉大な真理を適切に表すような方法で語り、祈るかを学びなさい。明らかにはっきりと、証を担い、祈りを捧げなさい。こうして神に栄光が帰される。」（教会への証 6 巻 382）

「生活のあらゆる行ないのうちに、あなたがたは神のみ名をあらわすべきである。この〔このお方のみ名があがめられるようにとの〕願いは、神のご品性を持つことを要求する。生活と品性において神のいのちとご品性そのものをあらわさないならば、神のみ名をあがめることも、世に神をあらわすこともできない。」（祝福の山 134）

- b. 神の聖なるみ名の恩恵を、どのように絶えず刈り取ることができますか（箴言 18:10; ヨハネ 14:13, 14; ヨハネ第一 3:22）。自分たちの額に神の印を受けるべき人々によって、神の栄光がどのようにあらわされるかを説明しなさい（黙示録 14:1）。

「神のみ前にはっきりとした良心を保ちなさい。あなたのなすすべてのことにおいて、このお方のみ名に栄光を帰しなさい。利己心と自己愛を脱ぎ捨てなさい。」（教会への証 2 巻 71）

「神のみ名があなたの額に記されない限り一神があなたの思想の中心であるがゆえにしるされるのでない限り一あなたは光のうちにある嗣業にふさわしいものとはならない。」（管理職への勧告 46）

個人的な復習問題

1. 神のみ名は何を示唆しますか。
2. わたしたちはどのように第三条を微妙に犯しているかもしれませんか。
3. 祈りについてわたしたちが覚えているべきことをいくつかあげなさい。
4. イエスが明らかにされたように、誓いをする事について説明しなさい。
5. わたしたちは、どのようにして神のみ名に完全に栄光を帰することができますか。

神の御子を尊ぶ

「それは、すべての人が父を敬うと同様に、子を敬うためである。子を敬わない者は、子をつかわされた父をも敬わない。」(ヨハネ 5:23)

「われわれは、イエスのみ名によって、確信を持ってみ前に出ることができるが、あたかも神がわれわれと同等であられるかのように、無遠慮な態度で近づくべきではない。」(人類のあけぼの上巻 286)

推奨文献： 初代文集 157-161

日曜日

7月15日

1. 「小さい」神ではない!

- a. キリストはどれくらいの間、存在してられましたか(ヨハネ 1:1, 2; 箴言 8:22-30; ミカ 5:2)。

「もしキリストが万物を造られたのであれば、このお方は万物以前に存在しておられたのである。このことに関して語られたみ言葉は非常にはっきりとしていて、だれも疑いの中に取り残される必要はない。キリストは本質において、また最高の意味において神であられた。このお方はとこしえから神と共におられた。万物の上にいます神は、永遠にほむべきかな。」(SDA バイブル・コメント [E.G. ホット・コメント] 5 巻 1126)

「キリストの先在性を語るにあたり、このお方は人々の思いを果てしない時代を通じた過去にまで連れて行かれる。このお方はご自分が永遠の神と近い交わりのうちにおられなかった時は一時もないと、わたしたちに保証しておられる。」(彼を掲げよ 17)

- b. ユダヤ人がこの真理を拒んだ理由は何ですか。また、今日、どのように、わたしたちが同じわなに陥る危険性がありますか(ヨハネ 8:56-59 (前句); コリント第二 3:14; 4:4)。

「だれでも神が自分に与えられた力を一度でも世俗や誇りの奉仕に捧げるなら、自らを敵の陣地におくことになり、自分自身の魂を弱め、他の人々を誤り導くことになる。」(レビュー・アンド・ヘアルド 1882年6月20日)

2. 創造主、維持者、そして王

- a. どなたが宇宙とその住民の創造に関わられましたか(ヨハネ 1:3; エペソ 3:9; コロサイ 1:15-17)。

「父はみ子によって天のすべての住民をお造りになった。」(人類のあけぼの上巻 3)
「天をのべ、地の基をおかれたのはキリストであった。もろもろの世界を空間にかけ、野の花をよそおわれたのはキリストのみ手であった。神は『そのみちからによって、もろもろの山を堅く立たせられる。』『海は主のもの、主はこれを作られた』(詩篇 65:6, 95:5)。地を美しさでみだし、空中を歌でみだされたのはキリストであった。地と空中と空のすべてのものの上に、キリストは天父の愛のこぼれをお書きになった。」(各時代の希望上巻 2)

「すべての世界を空間にささえ、宇宙の万物を整然たる秩序と倦むことのない活動の中に保つみ手は、われわれのために十字架に釘づけされたみ手である。」(教育 144)

- b. 預言によると、終わりの時代の偽教師たちによって、どの教理が踏みにじられますか(テモテ第一 3:16; 4:1-4)。

「背信の働きが最後に発展する前に、信仰の混乱が起こるであろう。神の奥義に関して明白で確固とした観念がない。真理が次々と明け渡される。〔テモテ第一 3:16 引用〕キリストの先在性を否定し、ひいてはこのお方の神性を否定する者が多くある。彼らはこのお方を個人的な救い主として受け入れない。これはキリストをまったく否定することである。このお方ははじめから御父と一つであられた神のひとり子であられた。このお方によって諸世界は造られた。

キリストの奇跡的な受肉を否定することによって、多くの人々は天に由来する他の真理に背を向け、サタンの考案した寓話を受け入れる。彼らは霊的な識別力を失い、そしてサタンの代理人を通して自分たちに伝えられ、自分たちの思いに印象づけられたことを実践する。熱い鉄で囚人に焼印が押され、その外観が損なわれたように、彼らの良心も罪によって焼印が押され、損なわれている。彼らは自分自身の義を宣布し、そして真理の愛を受け入れてこなかった人々の信頼を得て自分の側に引き入れるために、人々の前で自らを高める。」(サインズ・オブ・タイムズ 1894 年 5 月 28 日)

3. 神がすべてを与えてくださった

a. キリスト自ら、何のために、神の御子としてこの地球に来られたのですか(イザヤ 9:6; ヨハネ 3:16, 34-36; ヨハネ第一 4:9)。

「イエスは、われわれのうちに住むためにおいでになることによって、人類にも天使にも神を示されるのであった。イエスは神のみことば—きこえるようにされた神の思想であった。キリストは、弟子たちのための祈りの中に、『わたしは彼らにみ名を知らせました。……それは、あなたがわたしを愛して下さったその愛が彼らのうちにあり、またわたしも彼らのうちにおるためであります』と言っておられる(ヨハネ 17:26)。そのみ名は、『あわれみあり、恵みあり、怒ることおそく、いつくしみとまこと』を意味している(出エジプト記 34:6)。だがこの啓示は、この地上に生れた子らにだけ与えられたのではなかった。われわれの小さな世界は、宇宙の教科書である。神のすばらしい恵みの目的、すなわちあがないの愛の奥義は、『御使いたちも、うかがい見たいと願っている』テーマであって、それは永遠にわたって彼らの研究となるであろう(ペテロ第一 1:12)。あがなわれた者も、墮落しなかった者も、キリストの十字架に彼らの科学と彼らの歌をみだすであろう。イエスのみ顔にかがやいている栄光は自己犠牲の愛の栄光であることがわかるであろう。」(各時代の希望上巻 1, 2)

b. なぜ、イエス・キリストの個人的な知識が、人類にとって非常に重要なのですか(ヨハネ 17:3; ヨハネ第一 2:23; 5:11, 12)。

「カルバリーの光に照らしてみ、おのれを捨てる愛の法則が天と地の生命の法則であること、『自分の利益を求め』ない愛はそのみなもとが神の心にあること、柔和で心のへりくだったおかたのうちに、だれも近づくことのできない光のうちに住んでおられる神のご品性があらわれていることなどがわかるであろう(コリント第一 13:5)。」(各時代の希望上巻 2)

「キリストに従うときに、あなたの信仰の創始者であり、完成者であられるお方を眺めて、あなたは自分がこのお方の御目の下で働いていること、すなわちこのお方のご臨在によって感化を受け、このお方があなたの動機をご存知であることを感ずるようになる。一步ごとにあなたは謙遜に、これはイエスをお喜ばせするであろうか。神に栄光を帰すであろうか、と尋ねるようになる。朝に夕にあなたの熱心な祈りが、神の祝福と導きを求めてみ許へ上るべきである。真の祈りは全能者をつかみ、わたしたちに勝利を与える。ひざまずいてクリスチャンは、誘惑に抵抗する力を得る。」(教会への証 4 巻 615, 616)

「救われるようにキリストを知るということは、霊的な知識によって命が与えられ、このお方のみ言葉を実践することである。これがなければ、他のものは一切価値がない。」(SDA バイブル・コメンタリ [E.G. ホット・コメント] 5 巻 1146)

5. 求められる敬神

- a. 聖書は、神の民に対するこのお方の寛容をどのように描写していますか（イザヤ 5:1-4, 7）。ぶどう畑の譬は、御父がご自分の御子に会う人々に何を期待していることを教えますか（マタイ 21:33-37）。
- b. 御子なる神に関する父なる神の言葉から、わたしたちは何を学ぶことができますか（マタイ 17:5; ヘブル 1:1-10）。

「〔ヘブル 1:4-12 引用〕。この言葉の中で主イエスの全能性が表されている。このお方は聖書を学ぶ者たちに、世界の創造主として、またその正当な統治者として紹介されている。」（SDA バイブル・コメント [E.G. ホット・コメント] 7 巻 921）

- c. 天がわたしたちに、キリストに対して表わすように命じている態度を描写しなさい（ヨハネ 5:23; 黙示録 5:11, 12; ペリピ 2:9-11）。

「わたしたちは人性をまとわれたキリストの神性という主題に近づくとき、燃える柴のところで、モーセに語られたキリストの言葉に注目することがふさわしい。『足からくつを脱ぎなさい。あなたが立っているその場所は聖なる地だからである』（出エジプト記 3:5）。わたしたちは、学ぶ者の謙遜さと砕けた心をもって、この主題の研究に当たらなければならない。そのとき、キリストの受肉に関する学びは実りの多い分野であり、隠された宝を求めて深く掘り下げる探求者に豊かな報いを与える。」（同上 904, 905）

- d. 教会の指導者も平信徒も、どの義務をもっと十分に自覚しなければなりません（ローマ 12:1; テサロニケ第一 5:17）。

「聖なる真理を扱っている人々が、感じるべきほどに敬神と畏敬の念を持っていない。彼らは神の事柄についておののきをもって語らない。これは個人的な敬神の欠如の結果である。彼らはへりくだり砕けた魂のうちに神の勧告を求める時間をほんのわずかしき取らない。」（原稿リ-ス 21 巻 454, 455）

5. わたしたちの救い主、仲保者、裁き主

- a. キリストの受肉について、いくつかの非常に重要な点をあげなさい(ピリピ 2:6-8; 使徒行伝 4:12)。

「キリストのうちに神に満ちみちているすべての徳が宿っていた。しかし、このお方が人間に接する唯一の方法は、ご自分の栄光を人性という衣で覆うことであった。天使たちは、キリストの神性が人性に触れることができるように、ご自分の栄光を隠されるのを見た。キリストは罪を極限まで憎まれるが、ご自分の血で贖われたものを愛された。このお方は罪人をご自分に結合させるために彼らにかかわって苦しめられた。これこそ、天使たちも、うかがい見たいと望んでいる奥義である。……罪を徹底的に憎んだお方が、罪を犯した人々に対しては、最も優しい同情を示されたお方であったということは、彼らにとって奥義であった。」(SDA パイプ・コメント [E.G. ホワット・コメント] 7 巻 904)

- b. 人類の裁きにおいて、キリストの二重の役割は何ですか (ヨハネ第一 2:1; ヨハネ 5:22; コリント第二 5:10)。

「神は、人性において苦しめられた君が全世界の裁き主となるように計画された。世の法廷に召喚されることに従われたお方、人を永遠の死から救うために天の宮廷から来られたお方、人々からさげすまれ、拒絶され、サタンによって扇動された人間からあらんかぎりの侮辱を山のように受けられたお方、十字架の不名誉な死に苦しんだお方—このお方だけが、報いもしくは刑罰の宣告を下されるのであった。」(同上 6 巻 1100)

個人的な復習問題

1. 終わりの時代にキリストの特徴がどのように疑問視されていますか。
2. キリストは創造のときに何をしておられましたか。
3. 御使たちがうかがい見たいと思っている奥義を述べなさい。
4. キリストの受肉に関して、何がわたしたちの態度であるべきですか。
5. 最終的な裁きにおけるキリストの総合的な役割を説明しなさい。

神の御霊を決して悲しませてはならない

「神の聖霊を悲しませてはいけない。あなたがたは、あがないの日のために、聖霊の証印を受けたのである。」(エペソ 4:30)

「キリストがわれわれのうちに住まれるのは、みたまを通してであり、神のみたまが信仰によって心に受け入れられるときに、それは永遠のいのちの始まりである。」(各時代の希望中巻 136)

推奨文献： キリストの実物教訓 130-144

日曜日

7月22日

1. 神格の第三位のお方

- a. 聖霊は、どのように宇宙の創造と贖いの計画の制定の両方に関わっておられたか(創世記 1:1, 2)。

「神格は、人類のための同情にかきたてられた。そして御父、御子、聖霊は、贖いの計画を実行するためにご自身を捧げてくださった。」(健康への勧告 222)

- b. 聖霊が力であるのと同様に聖なる存在であられるという、どの証拠がありますか(使徒行伝 13:2-4; 15:28; エペソ 4:30; コリント第一 2:11; ローマ 8:26, 27)。

「天の生けるお三方がおられる。これらの三人の偉大な力—御父、御子、そして聖霊—のみ名のうちに、生ける信仰によってキリストを受け入れる人々はバプテスマを受ける。そして、これらの権力者は、天の従順な臣民がキリストにあって新しい命を生きようとするその努力において協力してくださる。」(特別な証シリーズ B, 7 番 62, 63)

「聖霊は個性をもっておられる。そうでなければ、わたしたちの霊へ、またわたしたちの霊と共にわたしたちが神の子であるという証を担うことはできないはずである。このお方はまた神聖なお方である。そうでなければ神のみ思いの中に隠されている秘密を探り出すことはおできにならないはずである。〔コリント第一 2:11 引用。〕」(伝道 617)

2. 御霊の働き

- a. 聖霊は、救いの相続者のために、どのような働きをなさいますか（使徒行伝 2:3, 4; ヨハネ 3:8; 16:13（前句））。

「聖霊はキリストの代表者であるが、人間の個性を備えておられないので、これに拘束されない。キリストは、人性の制約を受けておられたので、どこへでもみずから行かれるわけにいなかった。だから、キリストが父のみもとに行かれて、地上におけるご自分の後継者として聖霊をお送りになることは彼らの利益であった。そうすれば、場所やキリストとの個人的接触などによる特典はだれにもないのであった。みたまによって、救い主はだれにでも近づくられるのであった。この意味において、主は、天にのぼられなかったとした場合よりも一層近く彼らのそばにおられるのであった。」（各時代の希望下巻 153）

「植物は、神が、その生命をささえるために備えられたものを受けることによって生長する。そのように霊的な成長は、神の力と協力することによって達せられる。植物が土に根をおろすように、われわれは、キリストに根をおろさなければならない。植物が、日光や露や雨をうけるように、われわれは、聖霊をうけなければならない。」（教育 112）

- b. なぜ、詩篇記者は、神の御霊の力によって畏敬の念に打たれたのですか（詩篇 139:7-12）。

「神の偉大さは、われわれにとっては測り知れないものである。『主のみくらは天にあり』（詩篇 11:4）とあるが、しかし神は、その霊によって、至るところに遍在なさるのである。神は、そのみ手のすべてのわざをくわしく知り、親しく関心をもっておられる。」（教育 144）

「もしあなたがイエス・キリストと緊密な関係に入るならば、神の律法から今は見えていないすばらしい事柄を見るようになる。人間の心と思いによって、和らげ征服する神の御霊の感化力は、真の神の子らを、キリスト・イエスのうちに天国で共に座らせるようになる。クリスチャンの向上が、聖霊によって働かれるすべての心のうちに進められる。……

あなたの命がキリストと共に神のうちに隠されているのが見えるようにしなさい。性急な語り口や安っぽい言葉、俗語的な表現がないようにしなさい。あなたが自分の尊ぶ同伴者がおられることに気づいていること、またこのお方があなたを恥ずかしく思われるようなことはしないことを示しなさい。ただ、わたしたちがイエス・キリストの代表者であることを考えてごらんください！それから、言葉とふるまいにおいて、このお方のご品性を表しなさい。」（彼を知るために 198）

3. 勝利への優しい懇願

- a. 聖霊のみ声は、人々が自然に期待することと、どれほど違っていますか（列王記上 19:11-13; イザヤ 30:21）。

「わたしたちが聖書を研究するときには、神の聖霊の光がみことばを照らし、わたしたちがみことばの宝をみとめて、理解できるようになることを祈り求めなければなりません。」（キリストの実物教訓 89）

「神のほかだれの目も見ることができず、彼のほかだれの耳も聞くことのできないひそかな祈りの場所で、わたしたちは心の奥底にひそむ願いや望みを無限のあわれみに富んでおられる父に注ぎ出せるのである。こうして、心が静まっている時に、助けを求める人間の叫びに必ずお答えになるあのみ声が、わたしたちの心に語りかけてくださる。」（祝福の山 103）

- b. 聖霊の特別な働きとこのお方のご臨在と力の証拠を述べなさい（ヨハネ 16:7, 8; 使徒行伝 5:32）。

「罪を自覚させるものは聖霊である。もし罪人がみ霊の生きかえらせる感化力に反応するならば、彼は改心へと導かれて、神の要求に従うことの重大さに目覚めるであろう。」（患難から栄光へ上巻 48）

「だれ一人として、悪への先天的な傾向のゆえに絶望する必要はない。しかし、神の御霊が罪を自覚させられたときに、悪をなした人は、悪を悔い改めて、告白し、捨てなければならない。忠実な歩哨は、魂を正しい道に導くために見張っている。」（SDA バイブル・コメンタリ [E.G. ホット・コメント] 6 巻 1120）

- c. 聖霊の内住のために、どのような種類の住まいがふさわしいですか（ヨハネ 14:17; コリント第一 3:16, 17; イザヤ 57:15）。

「清い者として神に認められるほどの人は、自分の善良さを誇ったりはしない。」（キリストの実物教訓 140）

「神は約束を実行しないのではなからうか、または忍耐と同情に欠けているのではなからうかと、心配せよとは言っておられない。それよりもあなたは、自分の意志をキリストの意志に従わせているかどうか、また、あなたの先天的および後天的性質が、自分の生活を支配していないかどうかをよく考えなければならない。……偉大な働き人であられる主とあなたの魂との間に自己をさしはさんでいないか……を注意すべきである」（同上 141, 142）

4. 許されざる罪

- a. 聖霊のみ声に抵抗することに対して、どのような警告が与えられていますか（使徒行伝 7:51; ヘブル 6:4-6; 10:26, 27）。

「良心は、人間の欲情の闘いの最中で聞かれる神のみ声である。それに抵抗するとき、神の御霊は悲しまれる。人が救われないのは、神が命じておられるからではない。神は貫くことができないような闇を目の前に投げかけたりなさらない。そうではなく、人がはじめに神の御霊の作用に抵抗し、一度抵抗すると、二度目はずっとたやすくなり、三度目はさらにたやすく、四度目にははるかにたやすくなるのである。……

密室の祈りと聖書朗読を今日なおざりにすると、明日はそれほど良心の呵責なくそれらを省くことができる。心の土壌にたった一粒まいただけで、長い省略の一覧ができてしまう。」（教会への証 5 巻 120）

「神は聖霊の働きによって人間と交わられる。であるから、この働きをサタンのものであると故意に拒む者は、魂と天との通路を断ち切ってしまうのである。

神は、聖霊の働きによって罪人を譴責し、罪を悟らせられる。であるから、聖霊がついに拒否されてしまうならば、神はその魂のためにもう何もおできにならない。」（人類のあけぼの上巻 490）

- b. どの罪は許されることができませんか（マタイ 12:31, 32）。わたしたちはどのようにこの深刻な危険を避けることができますか（ヘブル 2:1-3; 詩篇 19:13, 14）。

「疑いのことばを口に出すことは危険である。すなわち天来の光を疑ったり批判したりすることは危険である。不注意で不敬な批判をする習慣は品性に作用し、不敬と不信の念を助長する。この習慣をほしいままにしていた多くの人々が、危険を意識しないで続けているうちに、ついには聖霊の働きを批判したりこぼんだりするようになった。」（各時代の希望中巻 40）

「聖霊に対する冒瀆の罪は、何か突然の言葉や行いのうちにあるのではない。それは真理と証拠の堅い確固たる抵抗である。

だれ一人、聖霊に対する罪を、何か神秘的で定義できないもののように見なす必要はない。聖霊に対する罪は、悔い改めへの招きに応じることを頑として拒む罪である。」（SDA パイプ・コメント [E.G. ホワイト・コメント] 5 巻 1093）

5. 今こそその時

- a. わたしたちは聖霊をどのように受けますか（使徒行伝 8:14, 15; ルカ 11:13）。

「聖霊の賜物こそ力を受けるべき手段であるのであれば、なぜわたしたちはそれに飢え渴かないのであろうか。なぜそれについて語り、そのために祈り、それについて宣布しないのであろうか。親が自分の子供たちに喜んで良い贈り物をする以上に、主はわたしたちに喜んで与えてくださる。御霊のパプテスマを求めて、すべての働き人は神に嘆願すべきである。」（教会への証 8 巻 22）

- b. この終わりの時代に特別にどの約束が与えられていますか。またそれに付随している主な条件は何ですか（ゼカリヤ 10:1; エレミヤ 14:20, 21）。

「今わたしたちが生存している時代は、求める者にとって、聖霊の時代となるべきである。このお方の祝福を求めなさい。わたしたちが献身においてもっと真剣になるべき時である。わたしたちには、闇の中にいる人々にキリストをあらわすという骨が折れるが幸せで栄光に満ちた働きが委ねられている。わたしたちはこの時代のための特別な真理を宣布するために召されている。ただこのために、御霊の注ぎが不可欠なのである。わたしたちはそれを求めて祈るべきである。主はわたしたちがご自分に求めることを期待しておられる。わたしたちはこの働きにおいて心を尽くしてこなかった。」（牧師への証 511, 512）

「あなたが必要なのは聖霊であり、罪の自覚である。そして、神が今日あなたにそれをもたらしてくださるように。わたしはこのお方の光と御霊のゆえにこのお方に感謝する。このお方の恵みに感謝し、わたしは自分の無力な魂をこのお方にあずける。わたしはほとんど一人で立っている。しかしイスラエルの神だけが働くことがおできになる。」（エルン・G・ワイル 1888 年原稿 596）

個人的な復習問題

1. 聖霊が個性をもつお方だということが、どのようにわかりますか。
2. イエスは、なぜ慰め主をつかわされたのですか。
3. 聖霊のみ声を述べなさい。またこのお方の使命を説明しなさい。
4. わたしたちは許されざる罪を犯すことをどのように避けることができますか。
5. 聖霊を求めるとき、どのような恩恵を刈り取ることになりますか。

第一安息日献金 伝道学校のために

改革運動の教会員として、旗印を掲げ、もっと高い地に到達する必要があると言われてきました。つまりあらゆる局面とあらゆるレベルにおいて、実に民に向上の必要があるということです。

教会として、わたしたちには救いはただキリストを通してのみもたらされるという生命に関わる情報を伝える任務が与えられてきました。わたしたちはまた、青年男女がキリストのような品性を発達させ、資格のあるよく訓練された教育者になるように準備させなければなりません。

教会がこのような指導者たちを訓練する働きに携わることは、神聖な義務であり、また特権です。なぜなら、「若い思いを扱うのは、男女が引き受ける中で最も楽しい仕事である」(クリスチャン教育 5)、そして、このような種類の活動は、「救霊のために神が定められた最大の手段の一つである」(家庭の教育 351)。

「青年は教会の将来である」という言葉を繰り返す前に、わたしたちはさしあたり、彼らはまた教会の現在でもあることを理解し、この事実を踏まえて優先順位を決める必要があります。「時は短いのであるから、青年たちにわたしたちの信仰と一致した教育を与えるために真剣になって、熱心に働くべきである。わたしたちは改革者である。子どもたちが最も有利に研究することを望む。」(クリスチャン教育 22)

もしこれらの記述が子供や青年たちの教育に全般的に有効だとすれば、わたしたちの伝道学校で教育者、すなわち「厳密な判断を下し、論理的に考える人」を(同上 13)、待ち受けている危険な時代に、悪に抵抗し、正しいことのために堅固な立場をとるよう他の人々を訓練することのできる人を教育するという優先順位を語るときには、さらに動機づけとなる言葉ではないでしょうか。

そこで、わたしたちは心から世界中の兄弟姉妹友人方に、心を開き、祝福として与えられた資金をもって、世界中の伝道学校事業を支えてくださるようお願いいたします。皆さんの惜しみない心に先立って感謝し、主が将来もまた豊かに、皆さんを祝福してくださるようお願いいたします！



世界総会教育支部

神のみ言葉を敬う

「もろもろの君はゆえなくわたしをしえたげます。しかしわが心はみ言葉をおそれます。」(詩篇 119:161)

「わたしたちは、神のみ前にあることを感じ、敬神の念をもって聖書の研究にあたるべきである。軽率さや軽薄さはことごとくわきに捨てるべきである。」(牧師への証 107)

推奨文献： 教会への証 5 巻 698-711;
同上 6 巻 126-133

日曜日

7月29日

1. 魂のための栄養

- a. 主はいにしへのイスラエル人に、どのようにして霊的な必要を自覚させようとなさいましたか(申命記 8:2, 3)。この教訓はまた、どのように今日の霊的なイスラエル人にあてはまりますか(コリント第一 10:11, 12)。
- b. 何が、神と神のみ言葉との交わりから得られ命を与える栄養を描写していますか(詩篇 63:1, 5 (前句)) ; イザヤ 55:1, 2; ヨハネ 6:51-63)。

「すべての世界を出現させた創造のエネルギーは、神のみ言葉のうちにある。神のみ言葉は能力を与え、生命を生ぜしめる。神のご命令の一つ一つは約束であって、意志がこれに同意し、魂がこれを受け入れるときに、そこには同時に限らない神の生命がもたらされる。それは人の性質を一変させ、魂を神のみかたちに再創造する。

このようにして与えられた生命は、また同じようにして維持される。人は、『神の口から出る一つ一つの言』によって生きる。」(教育 135, 136)

「聖書は、単純に、また人の心の必要と切望に完璧に適応させて、真理を明らかにする。それは最も教養のある思いを驚かせ、魅了してきたが、その一方もっともいやしく教養のない人でも救いの道を見極めさせるのである。」(教会への証 5 巻 700)

2. 神聖な靈感の力

- a. イエスは旧約聖書の神聖な靈感をどのように確認なさいましたか（マルコ 12:24; ルカ 16:29, 31; ヨハネ 5:39, 46, 47）。

「クリスチャンと称する人々の多くは、旧約聖書はもう役にたたないと主張して、いまでは旧約聖書を捨てている。しかし、キリストはそういうことを教えておられない。……

救い主は、新約聖書と同じようにはっきり旧約聖書の中にあらわされている。キリストの生涯と新約聖書の教えをはっきりと美しく浮き出させるのは、預言時代から出ている光である。」（各時代の希望下巻 334）

- b. 旧約と新約は、どのように描写されていますか（黙示録 11:3, 4）。

「二人の証人というのは、旧約と新約の聖書を表わしている。両方とも、神の律法の起源とその永続性に関する重要な証言である。両者はまた、救いの計画の証人でもある。旧約聖書の型、犠牲、預言は、来たるべき救い主をあらかじめ示している。新約聖書の福音書と手紙とは、型と預言に示されたとおりに来られた救い主について語っている。」（各時代の争闘上巻 341）

- c. 聖書の成就した預言には力があります。それはわたしたちの信仰にどのような影響を与えるべきですか（コリント第二 5:7）。

「〔聖書の〕単純に述べられた真理は、あまりに高められ、あまりに遠大で、あまりに人間の理解力を超えて無限であるために、わたしたちはただそれらを神が宣言されたからという理由によってのみ、受け入れることができる。……非常にたやすく理解できるこれらの真理の下には、このお方の栄光が隠されている奥義一思いは圧倒されて探り調べることができないが、敬神の念と信仰をもって真理を求めるまじめな探求者に靈感を与える奥義一がある。……

このように生ける託宣を神の権威に基づいて受け入れる人々は最もはっきりとした光をもって祝福される。ある言葉を説明されるように求められるなら、彼らはただ、『聖書にそう提示されている』と答えることができるだけである。……わたしたちがある事柄をただ信仰によってのみ受け入れるよう迫られることは、神の意図されたことである。」（教会への証 5 巻 700, 701）

3. 力強い道具

- a. 外科医のメスと同じように、神のみ言葉はどのように霊的な病を切り取りますか（ヘブル 4:12）。

「实际的な真理が生活に持ち込まれなければならない。そしてみ言葉は鋭いもろ刃の剣のように、わたしたちの品性のうちにある自己という余分なものを切り取らなければならない。〔ヘブル 4:12 引用〕。

み言葉は高慢な者を謙遜に、強情な者を柔和で心砕けた者に、不従順な者を従順な者にする。生まれつきの罪深い習慣は人間の日々の行為に織り込まれている。しかし、み言葉は肉欲を切り離す。それは心の思いと意図とを見分けるものである。それは関節と骨髄とを分け、肉の欲を切り離し、主のために苦しむことをいとおなようにする。」（SDA パイプ・コメント [E.G. ホワット・コメント] 7 巻 928）

「神のみ言葉があるがままにしない。人間の知恵が僭越に、聖句の一言の力でも減じるようなことがあってはならない。」（教会への証 5 巻 711）

- b. 力ある神のみ言葉は、誤用されると、どのように霊的に危険な武器となりますか（ペテロ第二 3:16（後句）；ルカ 11:52）。

「恩恵を受けず、多くの場合はっきりと有害な聖書研究が大いにある。神のみ言葉を敬神の念や祈りなく開くとき、思想や愛情がしっかりと神に留まっていないとき、あるいはこのお方のみ旨に調和していないとき、思いは疑いによって曇らされ、聖書研究そのものにおいて、疑念が強められる。敵が思想の支配権を握り、正しくない解釈をほめめかすのである。」（同上 704, 705）

「生徒は皆、聖書を開くときに、聖霊の啓発を求めるべきである。そうすれば、与えられるという約束は確かである。

あなたが聖書を調べるにあたって抱いている精神が、あなたの傍らにあって助ける者の性質を決める。光の世界からの天使は、心のへりくだりのうちに神聖な導きを求める人々と共にいる。しかし、もし聖書を不敬な思いで、自己満足をもって開くとき、心が偏見に満ちているとき、サタンはあなたの傍らにいて、神のみ言葉の率直な記述をゆがんだ光のうちにおくのである。」（牧師への証 108）

4. 最高の教育者

- a. 世俗や、また宗教的な学校においてさえ、どのような警告の言葉がいくつかの教えに当てはまりますか (テモテ第一 6:20, 21; テモテ第二 3:7; 4:4)。聖書を歪曲するために、多くの人々は、どのようにユダの例にならいますか。

「〔裏切り者のユダ〕はキリストが述べておられる真理とは何の関係もない聖句をよく持ち出した。こうした聖句は、前後関係を抜きにされると、弟子たちを困惑させ、たえず彼らを襲っている落胆を増し加えた。しかもこうしたことはすべて、自分を良心的にみせるようなやり方でなされた。そして弟子たちが大教師イエスのみことばを確認する証拠をさがしていると、ユダは彼らを気がつかないうちにほかの道へ連れ込むのだった。こうして彼は、宗教的でしかも賢明そうに見える方法で、物事をイエスがお与えになったのとはちがった光に照らして見せ、イエスが意図されなかった意味をそのみことばにつけ加えていた。」(各時代の希望下巻 220)

「矛盾を見つけるために聖書を調べる人々には霊的な洞察力がない。ゆがめられた見解をもって、彼らは実は明白で単純な事柄の中に疑いと不信のための多くの理由を見つける。しかし、神のみ言葉を敬神の念をもって受け入れ、このお方のみ旨に従うためにそれを知ろうと求める人々にとっては、まったく違う。彼らは表された真理の純潔さと高められた素晴らしさを考えるときに、畏敬と驚きに満たされる。」(教会への証 5 巻 705)

- b. なぜ聖書は、敬神の念をもって用いられるとき、教育の取り決めに際して、主要な教科書とするのに適しているのですか (詩篇 12:6; 119:105, 130; 箴言 9:10)。

「真の科学には、神のみ言葉の教えに反するものは何もない。なぜなら、両者の創始者は同じだからである。両方を正しく理解するとき、いつも調和していることが証明される。」(同上 8 巻 258)

「聖書には、魂を救うために必要なことがすべて含まれている。そして同時に、それは知性を強め、律するのに適している。わたしたちの学校で教科書として用いるとき、聖書は、魂が天に到達するはしごを上るのを助けるのと同様に、この世の生涯の事柄において賢く導くのに、他のどの本よりもはるかに効果的であることがわかる。聖書は真の探求者に高度な知的訓練を与える。彼は高められた能力をもって神聖な事柄を熟考するようになる。」(両親、教師そして生徒への勧告 448)

5. 並々ならぬ書物

- a. 長い間、容易に神のみ言葉に近づくことができなかったために、ある人々は、どのようにみ言葉に対して非常な敬意を表しましたか（歴代志下 34:14-21; ネヘミヤ 8:9（後句））。
- b. なぜ、またどのように、わたしたちは特別にこの終わりの時代に、神のみ言葉を蓄えるべきなのですか（詩篇 119:161; アモス 8:11, 12; ヨハネ 12:48）。

「聖書は、わたしたちに語りかける神のみ声であり、あたかもわたしたちの耳に聞こえるかのように、確かなものである。もしこれを悟るならば、わたしたちはどれほどの畏敬の念をもって神のみ言葉を開き、どれほどの熱心さをもってその規則を探ることであろう。聖句の研究と熟考は、無限のお方との謁見と見なされるはずである。……

聖句を引用するとき、一言たりともあなたの唇から軽率で軽薄な表現がもれることのないようにしなさい。あなたが聖書を自分の手に取るとき、聖なる地にいることを覚えていなさい。」（今日のわたしの生涯 283）

「聖書に対する心からの愛が目ざめ、その広い分野と、そのとうとい宝がわかりはじめると、神のみ言葉を知るためには、あらゆる機会をのがすまいと望むようになる。そして時間や場所に制限されないで聖書を研究するようになる。このようにたえず研究することが聖書に対する愛をつちかう最上の手段の一つである。聖書はいつも手許に持っていなければならない。機会があるたびに聖句を読み、それについて瞑想すべきである。道を歩いている時にも、駅で待っているときにも、約束の人を待ち合わせているときにも、その機会を利用して、真理の宝庫である聖書から何か貴重な思想を得なければならない。」（教育 227）

個人的な復習問題

1. 神のみ言葉の力を述べなさい。
2. なぜ旧約聖書がそれほど重要なのですか。
3. ユダはどのように聖句をゆがめて、キリストの弟子たちを混乱させましたか。
4. わたしたちの学校において聖書はどの位置を占めるべきですか。
5. 敬神の念をもって神のみ言葉を扱う重要性を説明しなさい。

律法と証

「律法と証とに求めよ。もし彼らの言うところこの言葉にかなわずばしののめあらじ。」(イザヤ 8:20 文語訳)

「人の意見を後にし、律法と証へ向き直りなさい。すべての世俗的な意見を締め出さない。あなたの決定を永遠のためのものとしなさい。」(教会への証 2 巻 495)

推奨文献： 人類のあけぼの上巻 430-444

日曜日

8月5日

1. 神聖な写し

- a. 昔の時代より、神のご自分の民との聖なる契約の基礎は何でしたか(創世記 17:7; 申命記 4:9-13)。

「神の律法は、神ご自身と同様に、神聖なものである。それは、神の意志の啓示であり、神の品性の写し、神の愛と知恵の表現である。造られたものの調和は、生物であれ、無生物であれ、すべてのものが創造主の律法に完全に一致することにかかっている。神は、生物のためだけでなく、自然のすべての営みを支配するために、法則をお定めになった。万物は、破ることのできない一定の法則の下にある。しかし、自然のすべてのものが、自然の法則に支配されているにもかかわらず、地上に住む万物のなかで、人間だけは道徳律に従わなければならない。創造の最高のわざである人間に、神は、神の要求を認めて、その律法の義と慈愛と、そして、人間に対する律法の神聖な要求を理解する能力をお与えになった。人間には、ゆるがない服従が要求されているのである。」(人類のあけぼの上巻 38)

- b. イエス・キリストは、地上の公生涯において、神の聖なる律法の神聖さをどのようにに再度確認なさいましたか(マタイ 19:16, 17; 22:36-40; ヨハネ 14:15)。

2. 力強い標準

- a. 聖書は、どのように時代を超えた不変の律法を描写していますか（詩篇 119:142; 89:34; ルカ 16:17）。

「神の律法は、人間が創造される前に存在していた。それは聖なる存在者たちの状態に合わせられていた。天使たちでさえもそれによって統治されていた。……

墮落後、これらの規則の原則は変えられなかったが、人間の墮落した状態に合わせて、追加的な規則が与えられた。」(SDA パイブル・コメント [E.G. ホイト・メント] 1 巻 1104)

- b. 神の贖いの計画とその聖なる律法が、どのように力強く共に働くかを説明しなさい（詩篇 19:7; ローマ 7:7-12; 8:3, 4）。

「この律法に従うというわたしたちの義務が、世に対する最後の憐れみのメッセージの義務となるべきである。神の律法は新しいものではない。それは創造された聖潔ではなく、知らされた聖潔である。それは憐れみ、いつくしみ深さ、愛を表現した原則の規約である。それは墮落した人類に神のご品性を表し、人間の義務全体を率直に述べている。

十誡の『せよ』また『してはならない』は、宇宙を統治している律法へ従順を捧げるならば、わたしたちに保証された十の約束である。……

人に提示することのできる最大の愛の十の規則の戒めは、次の約束のうちに天から語られた神のみ声である。『せよ、そうすれば、あなたはサタンの統治や支配下に陥ることはない』。律法のうちには、たとえそう見えたとしても、否定的なものはない。それは、『せよ、そうすれば生きる』である。」(同上 1104, 1105)

「神は、人類を愛されるから、その聖なる戒めをわれわれにお与えになったのである。罪とがの結果からわれわれをかばうために、神は義の原則をお示しになっている。律法は神の思想のあらわれである。キリストのうちにあって受け入れられるとき、それはわれわれの思想となる。それはわれわれを生来の欲望や性質の力から高めまた罪にいたる誘惑から高める。神はわれわれが幸福になることを望んでおられる。そこで神は、律法の戒めをお与えになったが、それは、われわれがこれに従うことによって、よろこびを感じずようになるためである。……

キリストの一生には律法の原則が明らかにされている。神の聖霊が心にふれるように、またキリストの光が、罪を洗い清めるキリストの血と人を義とするキリストの義の必要とを人々に明らかにするように、信仰によってわれわれが義とされるために、律法は今もなお われわれをキリストにみちびく手段である。」(各時代の希望中巻 13, 14)

3. 本物の改心の実

- a. 「古い」また「新しい」契約を説明しなさい(出エジプト記 24:7, 8; ヘブル 8:6-12; コリント第二 3:3)。

「石の板に刻まれたのと同じ律法が、聖霊によって心の板に書かれるのである。自分自身の義を確立させようと努力するかわりに、われわれは、キリストの義を受け入れる。キリストの血がわれわれの罪を贖うのである。キリストの服従が、われわれに代わって受け入れられる。こうして、聖霊によって新しくされた心は、『御霊の実』を結ぶのである。キリストの恵みによって、われわれは心に書かれた神の律法に従って生きるのである。」(人類のあけぼの上巻 442)

- b. 神はどのようにご自分の律法への従順を喜びとして下さいますか (エゼキエル 36:26, 27; 詩篇 40:8; ヨハネ第一 2:3, 4)。

「神に忠実な人々と、このお方の律法に軽蔑を投げかける人々の間には、はっきりとした対立があるであろう。神の律法への敬神がむしばまれてきた。宗教指導者たちは、人の戒めを教理として教えている。昔のイスラエルの時代と今の世の時代も同様である。しかし、不忠実と不法がはびこっているからといって、神の律法を尊んできた人々は今、それに対する敬神の念を減じるのであろうか。彼らは神の律法を無効にするために、地上の権力者たちと結託するのであろうか。忠実な人々は、悪の潮流によって流されてしまうことはない。彼らは神が聖なるものとして取りおかれたものに、軽蔑を投げかけたりはしない。」(教会への証 8 巻 120)

「神の律法がすべての永続的改革の基礎である。」(国と指導者下巻 278)

「主はご自分の律法を守ると公言する民を譴責し、正される。このお方はあらゆる罪と悪を彼らから分離させたいがゆえに、彼らの罪を指摘し、彼らの悪を明らかにされる。それは彼らがご自分をおそれて聖潔を完成させることができるためである。」(教会への証 2 巻 453)

4. 神の御霊の証

- a. 神はどのようにご自分の残りの民の間の「イエスの証」を定義し、またその靈感と目的を確認しておられますか（黙示録 12:17; 19:10（後句））。

「わたしたちは預言の霊を通して与えられている指示に従わなければならない。わたしたちはこの時代のための真理を愛し、これに従わなければならない。それによって、強力な惑わしを受け入れることから救われる。神はご自分のみ言葉を通してわたしたちに語ってこられた。このお方は教会への証を通して、またわたしたちの現在の義務といま占めるべき立場を明らかにするのを助けてきた書物を通して、わたしたちに語ってこられた。与えられてきた警告、規則に規則、教訓に教訓に注意を払うべきである。もしそれらを軽視するならば、わたしたちにどのような言い訳があるであろうか。」（福音宣伝者 308）

- b. なぜ預言の霊を心を尽くして感謝することが、それほど必要なのですか（歴代志下 20:20（後句）；ホセア 12:13）。

「ここであなたがたは神のみ前に、魂の苦悩のうちに、さらなる光を求めて叫んでいる。わたしは神からあなたに、すでに与えられた光を実際的に用いるのでない限り、証を通して他の光があなたの道を照らすことはないと伝える権威を与えられている。主はあなたがたの周りを光で囲んでこられた。しかし、あなたがたは光を感謝してこなかった。あなたがたはそれを踏みにじってきた。ある人は光をさげすみ、他の人はそれを無視したり、あるいは従っても無関心であった。……

証を通して特別な警告を受けてきた人々は、その警告が与えられてから数週間で忘れてしまった。ある人々への証は数回繰り返されてきたが、彼らはそれらを注意深く耳を傾けるほど重要だとは思わなかった。彼らにとっては根拠のない話のようであった。彼らが与えられた光を尊重していたら、苦しくきついと思う損失や試練を避けられたのであった。彼らは自らを責めるしかない。彼らは自分自身の首に負うのが耐えがたいと思うくびきを置いたのだった。それはキリストが彼らに結びつけたくびきではなかった。神の保護と愛は、彼らのために働いたが、彼らの利己的で、邪悪で、信じない魂は、このお方のいつくしみ深さと憐れみを識別することができなかった。……あなたが過去に神が与えてくださった光をあつめるとき、その時このお方は光を増し加えてくださる。」（教会への証 2 巻 606, 607）

5. 終わりの時代に

- a. すべての霊的な賜物に一預言の霊を含め一どのような最終的な目的が完全に実現すべきですか (エペソ 4:11-13; コリント第一 1:5-8)。
- b. 終わりの時代に預言の賜物信じる人々の信仰を守るために、どのような注意が与えられていますか (使徒行伝 20:30, 31; ヨハネ第一 4:1; イザヤ 8:20)。

「まもなく、神の御霊の証の真理を軽視し、ゆがめるためにありとあらゆる努力がなされるようになる。……

かつては信仰においてわたしたちと結びついていたが、新しい変わった教理を、また民に提示するための奇妙で扇情的な何かを探し求める人々がいるであろう。彼らは思いつく限りの誤謬を持ち込み、魂を惑わすために、それらをホワイ夫人から出たものとして提示するようになる。」(セレクト・メッセージ 1 巻 41)

「真理を知りたいという願いを持つすべての人に、わたしは言う。ホワイ姉妹がした、もしくは言った、もしくは記したということに関して、本物だと証明されていない報告は信頼してはならない。もしあなたが彼女を通して主が明らかにされたことを知りたいと願うなら、彼女の出版物を読みなさい。彼女のしていることに関して興味のある点があっても、彼女が言ったということに関して、熱心にうわさに飛びついたり、伝えたりしてはならない。」(教会への証 5 巻 696)

「何らかの真理を含んではいるものの、本来の信仰から導き出してしまう偽りの夢や偽りの幻があるであろう。……もし彼らが神の律法を軽んじるなら、もしこのお方の御霊の証にあらわされた御旨に注意を払わないならば、彼らは欺瞞者である。……

「〔惑わしや欺瞞のような〕この類の試練が、外部からばかりでなく、わたしたち自身の内部からもおとずれるようになることを心に留めておきなさい。」(SDA パイブルコメント [E.G. ホワ・コメント] 7 巻 952)

個人的な復習問題

- 1. 人類にどの知識が委ねられてきましたか。
- 2. 神の律法は、このお方の贖いの計画をどのように関連づけていますか。
- 3. キリストによって制定された新しい契約は何ですか。
- 4. 「イエスの証」によって意味されていることを説明しなさい。
- 5. 終わりの時代に選民をも惑わす巧妙なわなを一つあげなさい。

神のご臨在

「全地は主を恐れ、世に住むすべての者は主を恐れかしこめ。」(詩篇 33:8)

「神に真の崇敬の念を抱くということは、神の無限の偉大さと神の臨在を自覚することによるのである。」(神の驚くべき恵み 93)

推奨文献： 教育 299-308

日曜日

8月12日

1. 聖なる地

- a. モーセが神のみ前に来たときの経験から、何を学ぶことができますか(出エジプト記 3:1-5)。ヨシュアはキリストのみ前にいたとき、どのようにふるまいましたか(ヨシュア 5:13-15)。

「神のみ前にくるすべての者の態度は、けんそんで敬神深いものでなければならない。」(人類のあけぼの上巻 286)

- b. シナイ山であらわされたような、神の力についてのどの描写が、わたしたちに敬神とおそれをもってわたしたちを動かすべきですか(出エジプト記 19:20-24; ヘブル 12:25, 26, 28, 29)。神のご臨在の外面的な現れがなくても、今日わたしたちはいつ聖なる地に立ちますか。

「神は、ご自分の律法を語られる時を、その重大性に応じて、荘厳な光景にしようともくまれた。民は、神への奉仕に関連した一つ一つを最高の尊敬をもってみなければならないことを印象づけられるのであった。」(人類のあけぼの上巻 353)

「エホバのご臨在のしるしは恐るべきものであったので、イスラエルの群衆は恐ろしさにふるえ、主の前にひれ伏した。モーセさえ、『わたしは恐ろしさのあまり、おののいている』と言った(ヘブル 12:21)。」(同上 354)

「あなたが聖書を手にとるとき、あなたが聖なる地にいることを覚えていなさい。」(クリスチャン教育の基礎 195)

2. 神の全知

- a. 聖書は神の全知を、とくにこの終わりの時代に集められている天の記録に関して、どのような単純な説明をもって描写していますか (詩篇 11:4; 102:19)。
- b. どのような精神が、大いなる光を委ねられている人々を含む多くの人々の愚かさを表していますか (詩篇 73:11; 139:7-12; エゼキエル 8:12)。これは、わたしたちに何を考えさせるべきですか (イザヤ 55:6)。

「神を求めるには遅すぎるようになる時が近づいている。そしてわたしは、恩恵期間が閉じ、わたしたちのあらゆる生涯の働きが終わるときに、わたしたちがどのように感じるだろうかと考えてきた。過去をどのような気持ちで振り返ることであろうか。そのとき、わたしたちは神に仕える自分たちの努力がもっと熱心であれば良かったと願うであろうか。もっとこのお方の表されたみ旨に調和して生きたら良かったと願うであろうか。そのとき、わたしたちは忠実な僕だと見なされるであろうか。もしこの瞬間に、キリストが『事はすでに成った』と言われるみ声を聞いたなら、どうであろうか。

わたしはかつて夢をみたが、その中で大きな一団が共に集まり、突然、天が暗くなり、雷がなり、稲妻がひらめき、雷の最も重いとどろきよりも大きな声が、天地に響き渡って、『事はすでに成った』というのを聞いた。群れの一部は、真つ青な顔で、苦悩の声を上げて飛び出し、『ああ、わたしは準備ができていない』と叫んだ。問いがなされた、『なぜ、あなたは準備ができていないのか。なぜあなたはわたしが恵み深くあなたに与えた機会を活用しなかったのか』。わたしは、自分の耳に鳴り響く『わたしは準備ができていない、わたしは救われない—失われた、失われた、永遠に失われた!』という叫びに目が覚めた。

わたしたちに負わされている厳粛な責任を考えて、将来を考えようではないか。それは、将来に直面するためにわたしたちがしなければならないことを理解できるためである。その日に、わたしたちは神とその憐れみを無視し、軽蔑したこと、このお方の真理と愛を拒んだことに直面するのであろうか。この終わりの時代の厳粛な集会において、宇宙の聞いているところで、罪人の有罪宣告の理由が読み上げられるのであろうか。はじめて、親は何が自分たちの子供の密かな生涯であったかを知る。子供たちは自分たちが親に対してどれほど多くの悪をなしてきたかを知る。心の秘密と動機が全般的に明らかにされる。なぜなら、隠されているものは、あらわされるからである。裁きに関わる厳粛な事柄をもてあそんできた人々は、その恐るべき現実に直面するときに酔いからさめるのである。」(ユース・インストラクター 1892 年 7 月 21 日)

3. 天の証人たちの前での生涯

- a. ヨセフに降りかかった厳しいテストは、密かにわたしたちに訪れる誘惑に対して、どのように警告しますか (創世記 39:3-9; 箴言 7:7-10, 18-20)。

「ヨセフの信仰と誠実とが、火のような試練に会うことになった。主人の妻が神の律法を犯すように彼を誘惑した。彼はこれまで、異教国にみなぎっていた腐敗に染まずにいた。しかし、突然、強く、魅惑的に迫ったこの誘惑に、彼はどうしたらよいであろうか。……原則が勝利するであろうか。ヨセフはそれでもなお神に忠誠を尽くすであろうか。天使たちは、言葉にあらわせない不安をいだいて、この光景をながめた。

ヨセフの答えは、宗教的原則の力を示した。彼は、地上の主人の信頼を裏切ろうとしなかった。そして、結果がどうなろうと、彼は天の主人に忠実であろうと願った。多くの人々は、神と聖天使たちの目が見守っているなかで、同胞の前ではしないようなかつてなふるまいをする。しかし、ヨセフはまず第一に神のことを考えた。『どうしてわたしはこの大きな悪をおこなって、神に罪を犯すことができましょう』と彼は言った。」(人類のあけぼの上巻 237)

- b. 神の全知と遍在についてもっと生き生きとした理解をもつとき、どのような結果になりますか (ヘブル 4:13; 詩篇 33:8, 14, 15)。

「もし、神がわれわれのなすこと、言うことのすべてを見聞きして、その言行動作をそのまま記録しておられること、そして、われわれはいつかそのすべてに当面すべきであることを常に念頭においていれば、罪を犯すことを恐れるであろう。青年たちはどこにいて、何をしようとも神の面前にあることを覚えていよう。われわれの行動は、なに一つ注視の目をのがれることができない。至高者からわれわれの道を隠すことはできない。人間の法律は時としてきびしく思われるが、犯罪が発見されないまま処罰を免れることがよくある。しかし、神の律法はそうではない。どんな夜中の暗黒も、犯罪者を隠すことはできない。自分ひとりだけであると思っても、目に見えない目撃者がすべての行為を見ている。心の動機でさえも、神の目にはあきらかである。すべての行為、すべての言葉、すべての思いは、あたかも全世界にその人がひとりしかいないかのようにはっきり認められて、天の注目が彼に集中しているのである。」(人類のあけぼの上巻 237, 238)

4. 神の絶えざるご臨在

- a. 神の全知と遍在に気づくとき、どのようにわたしたちの心を慰めますか（創世記 16:13; 歴代志下 16:9（前句）；マタイ 6:4）。

「おく病な子供は恐怖心のために人生を重荷に感じるが、それは神のみ前にあるという意識によってのみ払いのけることができる。『主の使は主を恐れる者のまわり陣をいいて彼らを助けられる』（詩篇 34:7）という御約束を彼の記憶にきざみこむがよい。」（教育 302）

- b. 使徒パウロは、どの言葉をもって単にパウロではなく神を喜ばせたいという願いを信徒たちの心に徐々にしみこませようとしていたか（ピリピ 2:12, 13）。なぜこのことが大いなる裁きの現実をわたしたちの思いに生き生きと保たせるべきなのですか。

「クリスチャンだと公言する人々が心にいだき犯しているさまざまな罪のために、神は教会にまゆをひそめておられる。天の帳簿が開かれるときに、裁き主は言葉で人にその罪を表現なさるのではなく、刺し通して罪を自覚させる一瞥（べつ）を投げ、一つ一つの行い、一つ一つの生涯の取引が、悪を行う者の記憶に生々しく印象づけられる。人はヨシュアの時代のように、部族から家族へと駆り出される必要はない。彼自身の唇が自分の恥、自分の利己心、貪欲、不正直、隠し事、詐欺を告白するようになる。人からは隠されて知られなかったその人の罪が、そのときにはありのままに家の屋根の上で宣布されるのである。」（教会への証 4 巻 493）

「誘惑から保護し、純潔と真理への靈感をあたえるものとして、神のみ前にあるという意識に匹敵するほどの力を持ったものは他にない。」（教育 301）

「神のみ言葉をさげすんできた人々はそのときに靈感を受けた託宣の創始者と顔をあわせることになる。わたしたちは裁きの日を考えずに生きる余裕はない。なぜなら、長く遅れているとはいえ、今やそれは近く、戸口にまで近づいており、大いに急いでいるからである。……」

すべてをご覧になる神の御目がわたしたちの上にある。わたしたちの心の密かな思いは隠されていない。わたしたち一人ひとりとは体をもってなされた行いに従って裁かれる。わたしは今日あなたに尋ねる。あなたは神のみ前にどのように立っているであろうか。あなたの生涯のすべての動機を理解し、すべての思想をご覧になり、すべての言葉を聞かれ、すべての行動を眺めておられるお方は、あなたの裁判をどのようにご覧になるであろうか。」（ユース・インストラクター 1892 年 7 月 21 日）

5. 神の特別なご臨在

a. 密室の祈りの恩恵を説明しなさい (詩篇 4:4; 62:8; 63:1, 2, 5, 6)。

「また、家族とともに祈らねばならない。わけても、密室の祈りをおろそかにしてはならない。これは、魂のいのちであるからである。祈りをおろそかにしていながら、魂の健全を願うことはできない。家族の祈り、また、公の祈りだけでは不十分である。人なきところに退いて、心を探られる神のみ前に心をすっかり開かねばならない。密室の祈りは、祈りを聞かれる神にのみ聞かれるべきで、好奇心にかられて人が聞いたりすべきものではない。密室の祈りでは、心は周囲の影響を受けたり、また、興奮したりすることもない。静かにしかも熱心に、神に近づく。そのときかくれたことをご覧になり、心からの祈りに耳を傾けて下さる神から、うるわしく、永久的な感化が感じられるのである。」(キリストへの道 135)

b. 落ち着きのない性急さは、霊的に何を失わせますか。神にだけ捧げられた時間の聖なる喜びを述べなさい (詩篇 84:4-8, 12)。

「わたしたちはみな自分たちの落ち着きのなさによって、また、瞑想と祈りの時を奨励しないことによって神とのうるわしい交わりを大いに失っている。」(教会への証 5 巻 492)

「祈りの一ときにおいてさえ、真に神と交わる祝福を受けられない人が多い。彼らはあまりに性急である。彼らは急ぎ足でやってきて、キリストの愛の座に割り込み、聖なる囲いの中にしばらく休息するが、しかし勧告を待ち望む気持ちがない。彼らは天来の教師と共にとどまる時間を持つとうとしない。そうして重荷を負ったまま働きにかえて行くのである。……

我々にとって必要なことは、神のみ前にちょっとひと休みすることではなくてキリストと直接に交わること、座してキリストと交わることである。」(教育 307, 308)

個人的な復習問題

1. 「聖なる地」によって何を理解しますか。
2. 誘惑されるとき、ヨセフの経験から何を思い起こすべきですか。
3. 神のご臨在の意識は、忠実な者にどのように慰めをもたらしますか。
4. 神のご臨在の意識は、大いなる裁きについて何を思い出させますか。
5. わたしたち個人個人の神との静かな時間を豊かにすることのできる要素を一つあげなさい。

礼拝の家

「主は聖なる者の会議において恐るべき神、そのまわりにあるすべての者にまさって大いなる恐るべき者です。」(詩篇 89:7)

「神への奉仕に関連した一つ一つを最高の尊敬をもってみななければならないことを印象づけられるのであった。」(人類のあけぼの上巻 353)

推奨文献： 教会への証 5 巻 491-500;
伝道 496-512

日曜日

8月19日

1. 聖なる神

- a. 終わりの時代にわたしたちが自分たちの創造主に近づくときに必要な態度を描写しなさい(詩篇 99:1-5)。

「人は、恵みの対象として、恵みのみ座の嘆願者として、ひざまずいて来なければならない。」(セラフ・メッセージ 2 巻 315)

- b. 神の礼拝の家に入るとき、わたしたちはみな親に対するどの訓告を考えるべきですか(出エジプト記 25:8; 詩篇 77:13; 89:7)。

「ご両親がた、あなたがたの子供たちの思いの中のキリスト教の標準を高めなさい。彼らの経験にイエスが織りこまれるように助けなさい。神の家のために最高の敬神を持ち、主の家に入るときには、次のような思いによってやわらげられ、征服された心を持っているべきことを理解するよう教えなさい。『神がここにおられる。これは神の家である。わたしは純潔な思想と最も聖なる動機を持たなければならない。わたしは心のうちに、誇り、妬み、嫉妬、邪推、憎しみ、あるいは欺瞞を持っていたはならない。なぜなら、わたしは聖なる神のみ前に来ているからである。ここは神がご自分の民と会い、祝福される場所である。とこしえに住まわれる高く聖なるお方がわたしを見ておられ、わたしの心を探られ、わたしの生活の秘かな思いや行動を読まれる。』」(教会への証 5 巻 494)

2. 天の秩序

- a. 公の礼拝のために集まる小さなグループにおいても、どのように神への真の敬神を育成させることができますか（イザヤ 66:1, ヨハネ第二 4:24; マタイ 18:20）。

「祈りの時間と場所は神聖である。なぜならば、神がそこにおられるからである。そして、崇敬の念が態度とふるまいにあらわされるときに、それを鼓舞する感覚はさらに深まるのである。」（国と指導者上巻 23）

- b. 礼拝者の集まる建物を含め、神の礼拝のすべての局面を何が特徴づけるべきですか（レビ記 26:2; コリント第一 14:40）。

「聖徒の家は整然ときれいに、ごみや汚れやあらゆる不潔なもののない状態に保たれているべきである……。わたしは神の家が、自分の子供たちに無頓着な親によって、またその乱雑さと不潔さによって神聖が汚されているのを見た。これらの事柄は公の譴責をもって対処され、もし真理を公言する人々にこれらのことにおいてただちに変化がないならば、宿営から出されるべきことを見た。」（ヘレティッド・メッセジ 3 巻 274）

「神の家への敬神はほとんど絶えてしまった。」（教会への証 5 巻 495, 496）

「神のみ前にくるすべての者の態度は、けんそんで敬神深いものでなければならぬ。われわれは、イエスのみ名によって、確信を持ってみ前に出ることができるが、あたかも神がわれわれと同等であられるかのように、無遠慮な態度で近づくべきではない。近づくことのできない光の中に住み、偉大で、全能であられる聖なる神にむかって、あたかも同等か、あるいは目下のものに話しかけるような言葉を用いる人がある。また、神の家の中において、地上の王たちの謁見室では決してしないような不謹慎な態度をとる人がいる。これらの人々は、自分が今、セラピムたちが賛美をささげ、み使いたちもそのみ前にあつて翼をもって顔をおおう神のみ前にあるということをおぼえていなければならない。神は大いに尊ばなければならないかたである。神のご臨在を真に感じるものはみな、そのみ前に謙虚に伏し、神の幻を仰いだヤコブのように、『これはなんとという恐るべき所だろう。これは神の家である。これは天の門だ』と叫ぶのである（創世記 28:17）。」（人類のあけぼの上巻 286）

3. 礼拝の原則

- a. 贖罪の日の本体に生きているわたしたちは、旧約時代における神の礼拝から何を学ぶことができますか（コリント第一 10:11）。

「地上の聖所に付随していた神聖さから、クリスチャンは主がご自分の民と会われる場所をどのようにみなすべきかを学ぶことができる。」（教会への証 5 巻 491）

一年で一日、至聖所における奉仕のために定められた日に、大祭司は栄光が香煙によって視界から隠されている中、おののきながら神のみ前に入っていった。宮の庭を通じてすべての音は沈黙した。祭司は一人も祭壇で奉仕をしなかった。礼拝者の万軍は、沈黙の畏敬のうちに頭を垂れ、神の憐れみを求めて嘆願を上に乗げた。」（同上 8 巻 284, 285）

「神の礼拝における熱心で献身的な精神を維持するのにあふれるほどの理由がある。わたしたちには自分たちの礼拝において、ユダヤ人たちよりももっと注意深く、敬神的になるべき理由がある。」（同上 5 巻 496）

- b. 安息日遵守者だと公言する多くの人々によって、どの重要な点が不注意に見過ごされていますか（伝道の書 5:1, 2; ハバクク 2:20）。

「通常の話、ささやき、笑いは、礼拝の前後いずれにおいても、礼拝の家で許されるべきではない。」（同上 492）

「み言葉が語られるとき、兄弟がたよ、あなたがたは神の定められた僕を通して神のみ声を聞いているのだということを覚えていなさい。注意して聞きなさい。一瞬たりとも眠ってはならない。なぜなら、このいねむりによって、あなたはまさに自分が最も必要としている言葉—もし聞いていればあなたの足が悪い道に迷いこむのを救うはずの言葉—を聞き逃すかもしれないからである。サタンとその使たちは忙しく、感覚を麻痺した状態にして、注意や警告や譴責が聞かれなないように、あるいは聞いたとしても心に影響を及ぼさず生活を改革しないようにしている。ときには、小さな子が聴衆の注意をひいて、尊い種が良き地の中に落ちず、実を結ばないかもしれない。ときには、神の家と礼拝に対する敬神の念が非常に薄い青年男女が説教の間、交信を続けている。これらの人々が、神の御使たちが彼らを眺めて、その行いを記録しているのを見るならば、恥と、自ら嫌悪感に満たされるであろう。」（同上 493）

「教会の境内は、神聖な敬神に包まれているべきである。」（同上 494）

4. 考慮すべき要素

- a. わたしたちは忠実なエステルより、クリスチャンの衣服の意味について、何を学ぶべきですか（エステル 5:1, 2（前句））。分別あるこの原則の理解を、宇宙の王との集会に、どのように適用することができますか（レビ記 19:30）。

「多くの人々の思いの中で、神の家に関する神聖な思いが、最も通俗的な場所に対するのとまったく変わらない。ある人々は帽子をかぶったまま、しみのついた汚い衣服を着て、礼拝の場所に入る。このような人々は自分が神と聖天使たちにお会いするのだということを自覚していない。わたしたちの諸教会全体を通じて、このことにおける徹底的な変化があるべきである。牧師自ら、自分たちの観念を高め、このことに関してもっと鋭敏な感覚を持つ必要がある。それは悲しいほどなおざりにされてきた働きの特徴である。態度、衣服、ふるまいにおける不敬のゆえに、また礼拝する心の態度の欠如のゆえに、神はしばしばご自分のみ顔をご自分の礼拝のために集まる人々からそむけられる。

すべての人は自分たちの衣服において、きちんときれいに整えることを教えられるべきであるが、聖所には全く似つかわしくない外面的な飾りにふけるためではない。衣服の見せびらかしがあるべきではない。なぜなら、それは不敬を促進するからである。人々の注意はしばしばきれいなあの服やこの服に引かれ、こうして礼拝者の心にあってはならない思いが入り込む。神が思想の主題、礼拝の対象となるべきである。そして厳粛で聖なる礼拝から思いをそらすものは何でも、神に対する侮辱である。」（教会への証 5 巻 498, 499）

- b. 神を礼拝するためにふさわしい音楽の種類を述べなさい（イザヤ 30:29）。

「歌うことを礼拝の一部とする人々は、その場にふさわしい音楽、葬儀用の楽譜ではなく、快活でありながら厳粛な旋律の讃美を選択すべきである。声は調整し、やわらげ、抑えることができるし、そうすべきである。」（伝道 508）

「〔神の家における〕すべての礼拝は、あたかも目に見えて集会の主人のみ前にあるかのように、厳粛と畏敬の念をもってとり行われるべきである。」（教会への証 5 巻 493）

5. 家族全体を導く

- a. 神を礼拝することについて家族が自覚する必要がある基本的な点をいくつかあげなさい（詩篇 95:1-6; 100:2-4）。

「親は自分の子供たちがまじめさと敬神の念を持って聖所に入るように教えるだけでなく、命じるべきである。

神の聖なる聖所における礼拝者たちの道徳的な分別は高められ、精錬され、聖化されなくてはならない。このことが悲しいほどなおざりにされてきた。その重要性は見過ごされてきた。その結果、無秩序と不敬が広まり、神が尊ばれてこなかった。教会の指導者、牧師や民、父親と母親にこのことに関する高められた見解がないなら、経験のない子供たちに何が期待できるであろう。彼らはあまりにもしばしばグループで、彼らに対して責任のある親から離れているのが見受けられる。彼らは神のみ前にあり、またその御目が彼らをご覧になっているにもかかわらず、彼らは軽々しくふざけており、ささやいたり笑ったり、不注意で無関心で無頓着である。彼らは、牧師は神の大使であって、彼の伝えるメッセージは魂の救いにおいて神の定められた代理人のメッセージであるということを、ほとんど教えられていない。」（教会への証 5 巻 496, 497）

- b. 天の神をどのように適切に礼拝すべきかを理解することが、なぜそれほど重要なのですか（イザヤ 1:12, 13; エペソ 5:17）。

「真の礼拝と真の敬神についての正しい観念が民に印象づけられない限り、ますます聖なる永遠のことが、通常の事柄と同じ水準に置かれる傾向が強くなり、真理を公言する人々が神に対する侮辱となり、宗教に対する汚名となる。」（同上 500）

個人的な復習問題

1. ヤコブはいつ畏敬の念に打たれましたか。またそれは、わたしたちに何を教えますか。
2. 神への真の敬神を示唆する外面の現れをいくつかあげなさい。
3. 礼拝において厳密に守られるべき基本的な規則の一つあげなさい。
4. 衣服や音楽の選択において、敬神はどのようにわたしたちを導くべきですか。
5. わたしたちはどのような方法によって、より深い敬神を培うことができますか。

第一安息日献金

ウクライナ
アレクサンドロフカの教会のために

アレクサンドロフカは、美しいカルパチア山脈地方、ザカルパッチアに位置しています。この村にはおよそ 200 名の改革運動の教会員がいます。東ヨーロッパ連合において、またユーラシア地上全体において最大の教会です。改革運動は、ここで

1930 年代に始まりました。この地方は素晴らしい人々が住んでいますが、しばしば戦争の衝突がありました。わたしたちの信仰の同志は福音真理の原則に忠実で、オーストリア・ハンガリーとチェコの軍隊のもと圧力に苦しみました。彼らはまたかつての USSR の無神論政府によって多くの苦難に耐えました。多くの兄弟たちは牢獄や労働キャンプに送られました。

独立宣言の前は、信徒たちは個人の家々で違法に集会していましたが、静かに彼らの伝道の働きを実行しました。時が経ち、主は彼らを祝福して、地元の教会が発展しました。兄弟姉妹たちはそのときここに建設しようと決定し、国における最初の教会となりました。

1990 年に一人の兄弟が一画の土地を捧げ、すべての兄弟が建設を始めました。彼らは手に入る材料から、また自分自身の資金から建設しました。工事は一年以内に完了し、神に献堂されました。わたしたちが宗教的な自由を得てからまもなく、この礼拝の家が用いられ、今や 20 年以上になります。

教会はいつもいっぱいです。定期的に出席する多くの子どもや青年たちがいます。セミナーや霊的な集会がここで開催されています。教会はすべての訪問客を収容できず、改築と、安息日学校の教室や様々な集会のための社交場が必要なため、実行委員会は新しい教会を建てることを決定しました。信徒たちは喜んで自分たちの蓄えを捧げ、ウクライナでは価格上昇が急速なため、急いで材料を購入しました。わたしたちはこの新しい施設をもって発展するものと信じています。ですから、皆さんに世界中のすべての安息日学校出席者のみなさんに、この事業を完成に至らせるためにわたしたちを資金的に助けて下さるようお願いいたします。どうか皆さんが助けて下さるようお願いと共に、喜んで捧げるすべての方を主が豊かに祝福して下さるものと信頼しています！

アレクサンドロフカの皆さんの兄弟姉妹より



安息日を聖別する

「わが安息日を聖別せよ。これはわたしとあなたがたとの間のしるしとなって、主なるわたしがあなたがたの神であることを、あなたがたに知らせるためである。」(エゼキエル 20:20)

「安息日には、安息日遵守を公言する多くの人々が捧げているよりもはるかにもっと神聖さが付随している。」(教会への証 6 巻 353)

推奨文献： 主は来られる 238;
教会への証 6 巻 349-368

日曜日

8月26日

1. 宣言された祝福

a. 神はどのように、またなぜ週の第七日に関して、人類のためのご自分のみ旨を明白に述べられましたか(創世記 2:1-3; 出エジプト記 20:8-11)。

「神は、第四条の戒めのなかで、天と地の創造主として示されており、それによってすべての偽りの神々との区別が明らかにされている。第七日が、人間の休息の日として聖別されたのは、創造の業の記念としてであった。それは人間が、生ける神を、存在の根源、尊崇と礼拝の対象として、常に心に留めておくためであった。」(各時代の大争闘上巻 48, 49)

「第七日は神の選ばれた日である。このお方はこの問題を祭司や統治者によって再編されるがままにはされなかった。……神は人が自分自身の都合を考慮して、自分たちの傾向に最もよくあう日を選ぶことをご存じであった。」(主は来られる 238)

b. なぜ神はご自分の創造の記念日にわたしたちの礼拝を受けるのに非常にふさわしいのですか(詩篇 111:2, 4)。

「地の基がすえられ、明けの星が相共に歌い、神の子たちがみな喜び呼ばわったその時、安息日の基礎が置かれたのである。……。この制度がわれわれの崇敬を要求するのは当然である。それは、人間の権威によって命じられたものでも、人間の伝承によるものでもない。」(各時代の大争闘下巻 178, 179)

2. 特別仕立ての賜物

a. 安息日はだれのために造られましたか。またなぜですか (マルコ 2:27, 28)。

「安息日は人のために、その思いを世俗の労働から神のいつくしみ深さや栄光についての熟考へ引き寄せることによって祝福となるために造られた。神の民がこのお方について語り、このお方のみ言葉に含まれている真理に関して思想や考えを交換し、時間の一部を適切な祈りに捧げるために集まることは必要である。」(教会への証 2 巻 583)

「安息日—ああ、それを週全体の中でもっともうるわしく、もっとも祝福された日としなさい。……親は自分の子供たちに聖書の物語で最も心をひく部分を読んだり、彼らに安息日を尊ぶように教育したり、それを戒めに従って守らせたりすることによって、彼らに注意を払うことができるし、そうすべきである。……彼らはしかるべき道を取っていれば、安息日を喜びの日とすることができる。子供たちは良い読み物や自分たちの魂の救いについての会話に興味を持つことができる。」(今日のわたしの生涯 287)

b. この忙しくペースの速い時代に、真のクリスチャンはどのように神の特別な賜物—安息日—を感謝していることを表しますか (詩篇 8:3, 4; 92:5, 6)。

「多くの人は、瞑想や聖書を探ることや祈りのために使った時間があたかも損失であるかのように、ちょっとした時間をしぶしぶ費やしているかのようなのである。わたしはあなたがたがみな神の望んでおられる光のうちにこれらのことを見ることができるようにと望む。なぜなら、そのときあなたがたは天の王国を第一に重要なものとするからである。」(神のむすこ娘たち 109)

「世は、スポーツや娯楽愛好に満ちていて、いつも何か新しい関心事に飢え渴いている。そして天地の創造主に向けられる時間と思想はなんとわずかしかなことであろう。神はご自分の被造物に、自分たちの注意を周囲の混乱や困惑から離して、ご自分のみ手のわざを感嘆するように呼び求めておられる。」(同上 110)

「あなたはいつも真のクリスチャンに、魂を生き生きさせる快活さや、神への聖なる幸せな信頼、このお方のみ摂理への従順があることを見出す。そのクリスチャンによって、彼の受けるすべての豊かさに神の愛と寛容が認められる。自然における美しさは熟考のための主題である。わたしたちを取り囲む自然のうるわしさを研究することによって、思いは自然を通してあらゆる麗しいものの創始者であられるお方へと運ばれる。」(教会への証 3 巻 377)

3. 創造主にして贖い主であるお方を尊ぶ

- a. 神の民はどのように安息日にこのお方を尊びますか（イザヤ 56:1, 2; 58:13, 14; マタイ 11:28-30）。

「安息日をキリストの創造とあがないの力のしるしとして受け入れるすべての人にとって、この日は楽しみとなる。彼らはその中にキリストをみいだし、キリストのうちにあってよろこぶ。安息日は創造のみわざをあがないにおけるキリストの大きな力の証拠として彼らにさし示す。それはエデンの失われた平和を心に呼びもどすとともに、救い主を通して回復された平和を告げている。」（各時代の希望上巻 373）

「ご両親がた、あなたは安息日を自分自身が聖なる日として守るべきことを覚える必要がある。そしてもしあなたがそうするならば、自分の子供たちに適切な教えを与えているのである。彼らは神の聖日を尊ぶようになる。」（今日のわたしの生涯 287）

「神のみ働きの成功に関連するすべてのものの中で、まず最初の勝利は家庭生活の中で勝ちとられるべきである。ここで安息日の準備が始まらなくてはならない。一週間を通じて親は、自分の家庭が上にある宮のために子供たちの準備をする学校となるべきことを覚えていなさい。親の言葉が正しい言葉となるようにしなさい。子供たちが聞くべきではない言葉が、彼らの唇からもれてはならない。精神はいらだちのない状態に保っていなさい。」（教会への証 6 巻 354）

- b. 偽りの安息日を聖別することに対して、どのような厳粛な警告が与えられていますか（黙示録 14:9-11）。真の第七日目の安息日遵守者は、自分たちの神との関係について、何を表しますか（出エジプト記 31:13-17; エゼキエル 20:12, 20）。

「世に与えられている安息日は、創造主としての神のしるしであると同様にまた聖化するお方としての神のしるしでもある。万物を創造された力は、ご自身に似たかたちに魂を再創造する力である。安息日を聖なる日として守る人々にとって、それは聖化のしるしである。真の聖化は神との調和であり、品性においてこのお方と一つであることである。聖化は、このお方のご品性の写しであるこれらの原則への従順を通して受ける。そして安息日は従順のしるしである。心から第四条の戒めに従う人は、律法全体に従う。彼は従順を通して聖化される。

安息日は、イスラエル人に与えられたように、わたしたちにも、『永遠の契約として』与えられている。このお方の聖日を尊ぶ人々にとって、安息日は神が彼らをご自分の選民として認められるしるしなのである。」（同上 350）

4. 休息のために準備する

- a. 主は一日の始まりと終わりをどのように決定しておられますか(創世記 1:5 (後句); レビ記 23:32)。
- b. 週の第六日目の日没前に完了すべき様々な活動をあげなさい (出エジプト記 16:4, 5, 23; マルコ 15:42; ルカ 23:54-56)。

「週全体を通じて、わたしたちは安息日を心に留め、それを戒めに従って守るために準備をしているべきである。」(教会への証 6 巻 353)

「尊い言葉はしばしば繰り返すが良い。『わが魂はもだしてただ神をまつ。わが望みは神から来るからである』(詩篇 62:5)。

安息日をこのように覚えるとき、地上の事柄が霊的な事柄を侵食するのを許されることはない。六日の間に属している義務を安息日に行うようやり残されることはない。一週の間、わたしたちの精力があまりに使い果たされ、主の休まれ清新になられた日にわたしたちがこのお方の礼拝に携わることができないほど疲れてしまうことはない。

安息日のための準備は一週間を通じてなされるべきであるが、金曜日は特別な備えの日とされるべきである。」(同上 354)

安息日の準備は、金曜日には完成するようにしなさい。すべての衣服が準備され、料理も全部終わるように取り計らいなさい。靴はみがき、入浴はすませなさい。そうすることは可能である。それを常とすればできるのである。安息日は、衣服の修繕をしたり、食物の煮たきをしたり、快楽を求めたり、あるいは、その他どんな世間的な事のためにも使ってはならない。日没前に、すべて世俗的な仕事はやめ、通俗的な読み物は見えない所に片付けてしまいなさい。両親よ、あなたがたのすることとその目的を、子供たちに説明し、安息日を戒めに従って守るための準備に彼らに参加させなさい。

わたしたちは熱心に安息日の両端を守るべきである。毎瞬間が聖別された清い時間であることを覚えなさい。できる限り、雇用者は金曜日の正午から安息日の始まるまでの時間を、働き人たちに与えるべきである。……そういうやり方をするによって、あなたは、たとえこの世の物においてさえも損はしないのである。

備え日に、気をくばらなければならない、今一つの働きがある。この日には、家庭内であっても、あるいは教会内であっても、兄弟間の不和を片付けなければならない。心の中から、にがにがしい気持ちや、怒り、また悪意を、すべて追い出さなさい。」(同上 355, 356)

5. 真の安息日遵守

- a. 安息日のために何が理想的な種類の活動ですか (ヨハネ 5:5-9; ルカ 6:9, 10)。

「第四条に従って安息日は休息と宗教的な礼拝のために捧げられた。すべての世俗的な勤めは保留されたが、憐れみと慈善の働きは、主のご目的にかなっている。それらは時間や場所に限定されてはならない。苦しんでいる人を救済し、悲しんでいる人を慰めることは、神の聖日に誉れを与える愛の働きである。」(福祉伝道 77)

- b. 多くの親は、どのように礼拝から神を締め出す罪を犯していますか。

「神の家が、安息日を守る人々の子供たちによって、しばしばけがされ、安息日が犯されている。彼らは時には、聖徒たちが聖なる装いをして主を拝むべきその集会の最中に、教会堂の中を走り回ったり、遊んだり、おしゃべりしたり、カンシャクを起こしたりするがままに放っておかれている。そして、神聖であるべき場所、きよらかな静寂が支配すべき所、完全な秩序とつつましさがなければならない所が、完全にバビロン、『混乱』の場所と化している。これでは神の不興を買い、わたしたちの集会が神のご臨在の恵みを受けられなくなってしまうのも当然である。」(家庭の教育 590)

- c. 神の聖化のしるしは、一週間を通じてわたしたちの生活に、どのように表されるべきですか (テサロニケ第二 2:13; テサロニケ第一 4:3, 4; 黙示録 14:4, 5, 12)。

「わたしたちは安息日を単に律法的な問題として守るべきではない。生活のすべての取引におよぼすその霊的な意味を理解すべきである。」(教会への証 6 巻 353)

個人的な復習問題

1. いつ、またなぜ神は安息日を制定なさいましたか。
2. 安息日はどのように人類に特別な恩恵を与えますか。
3. 安息日の深い意味を詳しく説明しなさい。
4. 安息日が始まる前に、どの準備が完了しているべきですか。
5. 真の安息日遵守者において必要な特徴を述べなさい。

聖なるものと俗なるものを識別する

「彼ら〔レビ人の祭司〕はわが民に、聖と俗との区別を教え、汚れたものと、清いものとの区別を示さなければならない。」(エゼキエル 44:23)

「人が神への讃美を表すのに最高のわざをなすことができるために、彼らの交わりは、彼らの思いの中で聖なるものを俗なるものから区別し続けるようなものでなければならない。」(教会への証 5 巻 491)

推奨文献： 牧師への証 337, 356

日曜日

9月2日

1. 聖書の歴史からの教訓

- a. 神は祭司職へ、どのような明確な警告と譴責をお与えになりましたか(レビ記 22:15; エレミヤ 23:11; エゼキエル 22:26)。
- b. 主はどのように、ご自分の民に僭越を避ける必要を印象づけようとなさいましたか(サムエル記上 6:19, 20; サムエル記下 6:1-11)。

「神がどのようなお方かを知れば知るほど、また自分たち自身が神の御目にどのような者であるかを知れば知るほど、わたしたちはこのお方のみ前で恐れおののくようになる。

今日の人は神が神聖だと宣言されたものを僭越にも勝手に用いた昔の人々の運命から警告を受けなさい。イスラエル人がパレスチナの地から契約の箱が戻ってきた時にあえて開こうとしたときに、彼らの不遜な大胆さは著しく罰せられた。〔サムエル記上 6:19, 20 引用〕。

また、ウザに下った裁きを考えなさい。ダビデの統治において、箱がエルサレムに運ばれていたときに、ウザは箱が動かないように手を伸ばした。神のご臨在の象徴に触れるという僭越さのために、彼はただちに打たれて死んだ。」(教会への証 8 巻 283, 284)

2. 神の奥義

- a. 神の最大の奥義のいくつかは何ですか—それらに対するわたしたちの態度はどうあるべきですか (出エジプト記 33:17-23; 詩篇 33:8)。

「わたしは御座を見た。そして、その上に父なる神と御子が座っておられた。わたしは、イエスのお顔をじっと見つめて、彼の美しい姿を賛美した。わたしは、父なる神のお姿を見ることはできなかった。それは、栄光に輝く雲が、神をおおっていたからである。わたしは、父なる神が、イエスご自身と同じような姿をしておられるかを、イエスにたずねた。イエスは、同じ姿であると言われた。しかし、わたしは、その姿を見ることができなかった。『もしあなたが神のお姿の栄光を見たならば、生きていることはできない』とイエスが言われたからである。」(初代文集 124)

『表わされたことは長くわれわれとわれわれの子孫に属』するが、『隠れた事はわれわれの神、主に属するものである』(申命記 29:29)。神がご自分のみ言葉の中に与えてくださったご自身の啓示は、わたしたちの研究のためである。これはわたしたちが理解しようと求めることができる。しかし、これを越えて、貫くことはできない。最も高い知性を持つ者が、神の性質に関する憶測のうちに疲れ果てるまで知力を働かせるかもしれないが、その努力は実りがない。この問題は、わたしたちに解くように与えられていない。人間の知性は神を把握することができない。有限な人間が神を解釈しようとするものではないようにしなさい。だれ一人このお方の性質に関して憶測にふけてはならない。ここでは沈黙が雄弁である。全知のお方は議論を超越しておられる。

御使たちでさえ、御父と御子の間で、救いの計画が立てられたときに、会議にあずかることは許されていなかった。いと高きお方の秘密に入り込もうとする人間は、自分たちの霊的で永遠の事柄についての無知を表わしている。」(教会への証 8 巻 279)

- b. 神はわたしたちがどの大いなる奥義を理解するように意図しておられますか。また、それゆえに何がわたしたちの神聖な義務ですか (テモテ第一 3:16; コリント第二 7:1)。初期のアドベンチストの信徒たちがどのように聖書を研究したかを述べなさい (イザヤ 28:10, 13)。

「わたしたちは魂のうちに重荷を負い、わたしたちが信仰と教理において一つとなることができるように祈りながら、共に集まるのであった。一度に一つずつ研究の主題とした。聖書は畏敬の念をもって開かれた。しばしばわたしたちは、真理を理解するのによりふさわしいものとなることができるように断食した。真剣な祈りの後に、もし何か理解できない点があれば話し合い、各自が自分の意見を自由に述べた。それから、わたしたちはまた祈りのうちに頭をたれ、神がわたしたちを助けて目のあたりに見ることができるよう、キリストと御父が一つであられるようにわたしたちが一つになることができるようにと熱心な嘆願が天へ上った。多くの涙が流された。」(牧師への証 24, 25)

3. 闇の奥義

- a. この終わりの時代に魂の敵が神秘的に自分の力を覆っている偽装のいくつかをあげなさい（黙示録 17:1-5; 13:11-14; 16:13, 14; コリント第二 11:14）。

「知的に無能力であったり、道徳的に欠点があったりするものは、価値のある目的に向かって、精神を集中することに欠けていることが主な原因の一つである。われわれは、印刷物が広く行きわたっていることを誇るが、しかし書籍そのものは有害ではなくても、書籍の増加ということは一種の積極的な悪であると言えるかも知れない。出版社からたえず送り返される印刷物の大洪水のために、老人も若い者も、大いそぎで上すべしな読書をする習慣が付き、一貫した健全な思考力が失われる。その上エジプトのかえるのように、全地にひろがりつつある書籍雑誌の大部分は、平凡で、人の心を怠惰に弱々しくするばかりでなく、また不潔で愚劣なものが多い。それは人の思考をまひさせて無力にするばかりでなく、魂を墮落させ滅ぼす力をもっている。怠惰で、目的のない心と魂は、たやすく悪のとりことなる。菌は生命のない病的な組織に根をおろす。怠惰な心はサタンの職場である。高く清い理想に心を向け、生活に高貴な目標、すなわち心を集中する目的があるときに、悪は足がかりを見つけて出すことができないのである。」（教育 225）

- b. どのような不注意な態度が、自称信徒とその子供たちを一掃し、まっすぐに敵の手中へ入れるかもしれませんか（エペソ 5:3, 4）。

「わたしたちの現在の習慣と慣習は、神を辱め、神聖にして天来のものを俗なるものの水準に落としており、わたしたちに不利に働いている。わたしたちには神聖で、テストとなり、聖化させる真理がある。そしてもしわたしたちの習慣や実行が、真理に調和していないならば、わたしたちは偉大な光に対する罪人であり、その分だけ有罪である。神の報復の裁きの日には、異邦人の方がわたしたちよりもはるかに耐えやすいであろう。」（教会への証 5 卷 495）

「多くの家長は、家庭で〔礼拝〕説教を批判の主題とし、二、三の事柄は是認し、ほかの事を非難する。こうして神から人へのメッセージは批判され、疑問視され、軽率な主題とされる。こうしてこれらの不注意で不遜な発言が青年たちにどのような印象を残したかは、天の書だけが明らかにするのである。子供たちは親が考えるよりずっと早くこれらの事柄を見て、理解する。」（同上 497）

4. 聖なる火か、異火か

- a. 主は、ご自分の民に、聖所の奉仕の神聖さをどのように印象づけられましたか（レビ記 6:8-13; 10:1, 2, 8-10）。

「神は、民らが崇敬と畏怖をもって神に近づき、しかも神の定められた方法に従わなければならないことを教えようとなさった。神は、なまはんな従順をお受けになることができない。厳粛な礼拝のときにあたって、ほとんどすべてのことが神の指示どおりに行なわれるというだけでは不十分であった。戒めから離れ、世俗のものと神聖なものとを区別しない者に、神はのろいを宣告しておられる。……

もしもナダブとアビウが、初めから酒をほしただけ飲んで半ば泥酔状態になっていなければ、この致命的な罪を犯すことはなかったであろう。彼らは神の臨在のあらわれる聖所にはいる前には、細心の注意を払って、厳粛に準備することが必要であることを承知していた。だが、彼らは不節制によって、清い職務にたずさわる資格を失ってしまった。彼らの心は混乱し、道徳的感覚は鈍り、神聖なものと世俗のものとの区別ができなくなってしまった。」（人類のあけぼの上巻 426-428）

- b. この原則から、わたしたちは今日の警告に注意を払うべきですか（イザヤ 50:11）。

「多くの人々がサタンの黄泉のともし火からともされた偽りの預言のともし火を自分の手に持って、わたしたちの講壇に立つであろう。もし疑いと不信が抱かれるならば、忠実な牧師たちが、自分たちは非常にわかっていると考える民によって排除されるであろう。」（牧師への証 409, 410）

「才気あふれる青年がいつも最大の成功を収めるとは限らない。なんとしばしばタラントと教育のある人が信任の地位に置かれると失敗であったことがわかることであろう。彼らのきらめきは金のような装いであるが、試されたとき、安っぽく価値のないものにすぎないことが立証された。彼らは不忠実を通して自分たちの働きに失敗した。彼らは勤勉でなく、辛抱がなく、徹底的に行わなかった。彼らははしごの一番下の段から始めて、忍耐強い骨折りをもって最上段につくまで一段一段上ろうとしなかった。彼らは自分自身の灯した火花〔自分たちの思想の輝かしいひらめき〕の中を歩んだ。彼らは神だけがお与えになることのできる知恵に頼らなかった。」（クリスチャン教育の基礎 193）

5. 罪と罪人からの分離

- a. 現在社会の中で促進されている警告をあげなさい。そして神がそれに対してご自分の民にどのように反応することを期待しておられるかを説明しなさい（イザヤ 8:12, 13; ヤコブ 4:4; エゼキエル 44:23）。

「あなたは何か陰謀（同盟）であるかを知っている。それは、働きにおける純潔でまっすぐなゆるぎない高潔さという印を帯びていない人々の組合である。」（SDA パイプ・コメント [E.G. ホット・コメント] 4 巻 1142）

「わたしたちは世俗の人々との友情は失ってもよい。自分たちのきよめられていない目的を実行するために、世俗の人々と自らを結びつける人々は、恐るべき間違いを犯している。なぜなら、彼らは神の恩寵と祝福を喪失するからである。……冒瀆な者と聖なる者との間に調和などというものはない。キリストとベリアルの上に調和はあり得ない。」（この日を神と共に 354）

- b. 主は一貫してご自分の選ばれた者たちがどうするように導いてくれましたか（創世記 12:1, 4; コリント第二 6:17, 18）。なぜ、印する働きが行われている間にこれが特に重要なのですか（黙示録 18:4, 5）。

「主は自ら、世とご自分が地上に設立されたものとの間に分離の壁を築かれた。神の民はこのお方に仕えるべきである。なぜなら、彼らがキリストの奉仕ができるように、このお方は彼らを世から召し出し、彼らを聖化し、精錬してこられたからである。」（同上 354）

「自分の子供たちを集め入れるのは親の仕事である。これは、あなたの仕事であり、わたしの仕事であり、真理を信じるすべての母親の仕事である。御使は、罪と罪人から分離するすべての人の額に印を押す。そして、滅びの天使が、若いも若きも残さず殺すために、後から続くのである。」（教会への証 5 巻 505）

個人的な復習問題

1. ウザの運命からどの教訓を学ぶべきですか。
2. 神の隠された秘密と表された真理を対比しなさい。
3. 安息日遵守者を狙ったサタンの策略のいくつかを明らかにしなさい。
4. 聖なる火と異火の違いを述べなさい。
5. 世界教会統一運動は何か誤っているのですか。

家庭の敬神

「わたしとわたしの家とは共に主に仕えます。」(ヨシュア 24:15, 後句)

「自分の家族を正しい道で治める人々は、教会の中に秩序と敬神の感化をもたらす。」(今日のわたしの生涯 284)

推奨文献： アドベンチスト・ホーム 116-123

日曜日

9月9日

1. 最初の基本的な一歩

- a. 神の第五条の戒めと従順な者に約束された祝福のかかわりを述べなさい (エペソ 6:1-3)。なぜ、サタンはそれほど熱心に、この戒めを弱体化させたいのですか。

「親は、ほかのだれも受けることのできない愛情と尊敬を受ける資格がある。神は、お与えになった子供たちの責任を親に負わせられた。そして、子供たちが幼いころは、親が子供たちに対して、神の立場に立つことを神ご自身が定められた。親の正当な権威を拒む者は、神の権威を拒んでいる。第五条は、子供たちが親を尊敬し、親に従順に従うことを要求しているだけでなく、親を愛し、いたわり、重荷を軽くし、その評判をまもり、老齢の彼らを助け、慰めることを要求している。」(人類のあけぼの上巻 359)

「親の権威を侮れば、やがて、神の権威を侮るようになる。」(同上 397)

- b. この戒めには他に何が含まれていますか (ペテロ第一 5:5 (前句) ; レビ記 19:32)。

「[第 5 条の戒め] それは、また、牧師、統治者その他神が権威をおゆだねになったすべての人を尊敬するように命じている。」(同上 359)

2. 神をおそれる構成単位

- a. 夫と妻のための神のご計画を述べなさい (エペソ 5:22, 25, 33; ペテロ第一 3:1-7; コロサイ 3:18, 19)。この計画がしばしば犯される方法をいくつか説明しなさい。

「夫であり父である者は結婚の誓約に忠実であるためにいかに注意深くあらねばならないことであろう。彼は神聖で標準の高い神の戒めに調和しない思想へと若い女性や既婚の婦人にさえも仕向けることがないように、その品性をいかに慎まねばならないことであろう。……

わたしは結婚した男性に言うよう命じられている。あなたの尊敬と愛情を受くべき人は妻、すなわちあなたの子供たちの母である。あなたの心尽くしは彼女になされるべきであり、あなたの思いは彼女の幸福を計ることに集中されるべきである。

わたしは夫であり父親である者がキリストに従う者にふさわしい慎み、品位のある敬虔な男らしさを心にとめていない家庭を示された。彼は、彼が神と天使たちの前で二人が生きながらえる間愛し敬い、尊ぶことを約束した妻が、当然受くべき親切でやさしい礼儀正しい行為を行なっていない。仕事をするために雇われた女の子がなれなれしく、幾分出しやばりで、彼の頭髪をなおしたり、愛情をこめて世話をするのを、彼は愚かにも喜んでいる。妻に対する彼の愛と心尽くしは以前のように示されなくなった。ここにサタンが働いていることは確かである。……

各家庭の秘密を守り、その純潔と神聖とを保つために計画された壁を破壊することによって、どんなに多くの生活が不愉快にされることであろう。第三者が妻の信用を得、彼女の家庭の私生活がこの特別の友人の前に公開される。これこそ夫と妻の心を離すサタンのたくらみである。このようなことはなくなつてほしいものである。そうすればどんなに悩み多い世が救われることであろう。相互の欠点を知るのはあなた自身の心にしまっておくがよい。あなたの悩みは神にのみ話しなさい。神はあなたに正しい勧告と、何の苦々しさも含まない清らかで確かな慰めを与えることがおできになる。

女性が家庭内のなやみごとや主人の不平をよその男性に話すことは、彼女の結婚の誓約を破ることになる。彼女は主人の誉れを傷つけ、結婚関係の神聖さを保つために立てられた壁を破壊することになる。彼女は入口をあけ広げて、陰險な誘惑をもつサタンを迎え入れる。これこそまさにサタンのさせたいと思うところである。もし一人の婦人がクリスチャンである兄弟のところに、彼女のなやみごと、失望、また試練などを持ってきたら、彼は常に、もし彼女がだれかに悩みを打ち明けなくてはならないのなら姉妹たちを心の友として選ぶよう忠告すべきである。」(アドベンスト・ホーム 378, 379)

3. 今日のための課題

a. どのような種類の家族が神を喜ばせますか (ヨシュア 24:15 (後句))。

「御使は、神が最高に統治し、子供たちが宗教と聖書と自分たちの創造主を尊ぶように教えられている家庭を喜ぶ。」(教会への証 5 巻 424)

「神との通信という聖なる特権は、神を愛し、このお方の戒めを尊ぶ人々のために用意されている栄光に満ちた事柄の見解を、はっきりと明確にする。わたしたちは敬神を日々の生活の中に持ち込む必要がある。」(今日のわたしの生涯, 284)

b. この終わりの時代に深刻なほど増大している問題を説明しなさい (テモテ第二 3:2)。この課題をどのように対処すべきですか (エペソ 6:13)。

「昔は、親の権威が尊重されていた。子供たちはそのころ自分の親の支配下にあり、彼らをおそれ敬っていた。しかし、この終わりの時代は順番が逆になっている。ある親は自分の子供たちの支配下にはいつている。彼らは、自分の子供の意志と食い違うことをおそれ、それゆえに彼らに譲ってしまう。しかし、子供たちが親の屋根の下におり、彼らに依存しているかぎりは、彼らの支配下にいるべきである。親は自分たちの正しい見解に従うことを要求し、決意をもって動くべきである。」(教会への証 1 巻 216, 217)

「親は自分自身の精神を完全に支配し、穏やかさがあひながら、なお堅固さをもって、子供の意志が親の望みに従うこと以外何も期待しなくなるまでたわめるべきである。」(同上 218)

c. 大人はどの厳粛な警告を、自分と子どもや青年との関係についても、考慮しなければなりませんか (ルカ 17:1, 2)。

「子供たちの救いはおおいに両親が取る行動にかかっている。彼らの誤った愛情や溺愛によって、多くの親は害になるほど子供たちを甘やかす。」(同上 217)

「ある子供たちは、年齢が大きくなるにつれ、進路については自分自身の道を行くべきであり、自分たちの親は彼らの願いどおりにすべきだと考える。彼らは親が自分に仕えるべきだと考える。彼らは抑制に対して短気で、自分の親を手助けするのに十分なほど大きくなっても、自分たちの負うべき重荷を負わない。彼らは責任から解放されていたので、家庭でも外でも価値のない者に成長する。彼らは忍耐力がない。」(同上 218, 219)

4. 真の家庭の規律

- a. 終わりの時代のエリヤのメッセージにおいて、最初に影響を受けるのはだれですか(マラキ 4:5, 6 (前句) ; 申命記 6:6-8; 箴言 23:13, 14)。親がこの召しに答えないとき、教会はどのように苦難を受けますか。

「[子供たち] がちやほやされ、甘やかされ、食欲が満足させられると、彼らは病弱になる。彼らのやり方やふるまいは好ましいものではない。彼らは自分自身も不幸であるし、周囲の人々も不幸にする。そして、子供たちがまだ子供である間、すなわちまだ律せられる必要があるときに、彼らは連れだつて出ていき、青年社会と交わることが許され、ある者は他の者に墮落的な感化力を及ぼすのである。

神ののろいはまちがいなく不忠実な親の上にある。彼らはここで自分たちを傷つけるあざみを植えつけているばかりでなく、裁き主が席につかれるときに、自分自身の不忠実に直面しなければならない。多くの子供たちは、裁きのときに立ちあがり、自分たちを抑制しなかったことで親の罪を責め、自分たちの破滅を親の責任にする。親の誤った同情と盲目的な愛情が、自分の子供たちの欠点の言い訳をし、矯正せずに見過ごさせてしまった。その結果、彼らの子供たちは失われ、彼らの魂の血は、不忠実な親にとどまるのである。

このように律せられることなく成長した子供は、キリストに従う者になると公言するときに、すべてを学ばなければならない。彼らの宗教経験全体は、幼年時代に育成してきたものに影響されている。同じ強情がしばしば現れる。同じ自己否定の欠如と、同じ譴責を受けた時の短気、同じ自己愛と他人の勧告を求めようとしない気持ちやもしくは他人の判断に影響されること、重荷を遠ざけ、責任を負うことに欠ける同じ怠惰がある。これらはみな、彼らの教会との関係において見られる。そのような人が勝利することも可能である。しかし、戦いはなんと困難なことであろう！争闘はなんと厳しいものであろう！彼らがクリスチャン品性の高みに到達するために必要な徹底的な訓練の道を通ることは、どれほど困難なことであろう！」(教会への証 1 巻 219, 220)

- b. 神のために子供たちを養育する際に必要とされる調和を描写しなさい(エペソ 6:4; 箴言 29:15; コロサイ 3:21)。何がこれをより容易にすることができますか。

「親は業務上の心配事や、世的な習慣や慣習や流行に支配されて、子供の幼児時代をおろそかにしたり、子供が成長するに従って適切な教育を与えぬようなことがあつてはならない。」(ドベンチスト・ホーム 196)

5. よく秩序だてられた家庭を広げる

a. アブラハムから、どのような家族の徳を学ぶことができますか（創世記 18:19）。

「世に良く秩序だてられ、良く律せられた家庭—真のキリスト教の力を示す家庭を提示することが、クリスチャンだと主張する人々の義務である。」（家庭の教育 239）

「神を愛し従う、良く秩序だてられた家庭は、快活で幸福である。父親は日ごとの労働から戻ってくるとき、自分の困惑を家庭に持ち帰らない。彼は家庭と家族の輪があまりに神聖で不愉快な困惑をもって損なうことはできないと感じる。家を後にするとき、彼は自分の救い主と自分の宗教を後に残さない。両方とも彼の同伴者である。家庭の芳しい感化、妻の祝福、子供たちの愛情が、彼の重荷を軽くする。そして、彼は心に平安と、自分の帰りを喜んで迎えようと待っている妻や子供たちへの快活な励ましの言葉をもって戻ってくる。彼が一日を通じて自分や愛する者たちをずっと守って下さったことに、神に心からの感謝をお捧げするために、家族と共に祈りの祭壇で頭を垂れるとき、神の御使たちは部屋にとどまり、神をおそれる親の熱心な祈りを、芳しい香として天へ運び、その祈りは祝福が戻ることによって、答えられるのである。」（セレクテッド・メッセージ 2 巻 439, 440）

b. 神はすべての信徒たちに—クリスチャン家族の絆という特権の祝福を受けていない人々も含めて—確かな約束を与えて下さっています。このことは、どのように教会の責任を示唆していますか（イザヤ 56:4-7; 54:1-3; ヨブ 29:15, 16）。

「あなたの家庭に楽しみや親切な注意を必要としている人々を招きなさい。見せびらかしをするのではなく、彼らの必要を認めて、彼らを招き入れ、本物のクリスチャンのもてなしを示しなさい。」（教会への証 6 巻 347）

個人的な復習問題

1. 家族の輪の中における第五条の深さを説明しなさい。
2. 家族を囲む「神聖な輪」とは何ですか。
3. この歴史上終わりの時代に、親はどのような深刻な課題に直面していますか。
4. 子供たちを正しく導くのに必要なしかるべき調和を説明しなさい。
5. どのような意味において、今日イザヤ 54:1-3 は適用することができますか。

謙遜、忠誠、尊敬

「すべての人をうやまい、兄弟たちを愛し、神をおそれ、王を尊びなさい。」(ペテロ第一 2:17)

「神に対して、また互に対して丁寧でありなさい。このお方はあなたが世の前で自分に栄光を帰すことができるように、あなたに最良の態度をもつよう望んでおられる。」(神のむすこ娘たち 315)

推奨文献： 教会への証 4 巻 16-20;
同上 6 巻 394-401

日曜日

9月16日

1. 昔の原則をリバイバルさせる

- a. 高齢の神の僕たちをどのように扱うべきか説明しなさい。またそれはなぜですか(箴言 16:31; 民数記 12:1-10; 列王記下 2:22-24)。

「神を代表する人々―神の代わりに語り行なうべく召されている牧師や教師や親に対して尊敬を示さなければならない。彼らに対する尊敬を通して、神のみ名はあがめられるのである。」(教育 288)

「親は自分の子供たちにおける心の頑なさや、神の要求に応える彼らの道徳的な感覚を呼び覚ます難しさを嘆く。しかし、天の記録の書は、過ちのない筆で真の原因をたどる。親は改心していなかった。彼らは天とあるいは天の働きと調和していなかった。牧会と神の聖所の神聖さについての彼らの低く通俗的な観念が、彼らの子供たちの教育に織り込まれた。……

ご両親がた、あなたが自分の子供たちにどのような模範や観念を与えているかに注意しなさい。彼らの思いは柔軟性があり、たやすく印象に残る。聖所の礼拝に関して、もし話し手に欠点があっても、それを口にすることをおそれなさい。あなたが神の代理人を通してもたらされたものとして注意を払うべき、彼のしている良い働き、提示している良い観念だけを語りなさい。なぜ子供たちが言葉の奉仕からこれほどわずかしか感銘を受けず、神の家への敬神の念がないかを容易に認めることであろう。彼らの教育はこの面において、欠陥があった。」(教会への証 5 巻 497, 498)

2. 神聖に吹き込まれた忠誠

- a. ダビデは自分を殺そうとする意図に満たされていたサウル王に対してさえ、どのようにおどろくべき忠誠心を具現化（ぐげんか）しましたか（サムエル上 24:4-6; 26:8, 9）。その結果は何でしたか（サムエル上 24:16-19; 26:21-25）。

「〔サムエル上 26:21, 22 引用〕。……ダビデが王の生命を尊重したこの第二のできごとは、サウルの心にさらに深い印象を与え、彼に、もっとけんそんになって、自分のあやまちを認めさせるに至った。彼は、こうした慈悲深い行為に驚き、圧倒された。」（人類のあけぼの下巻 354）

- b. キリストの体のために、わたしたちはどのような方法で深い感謝を表すべきですか（テモテ第一 5:17-19; ヘブル 13:17; ペテロ第一 4:8, 9; 5:5）。

「多くの人々は教会関係の神聖さを悟らず、抑制や規律に従うことを忌み嫌う。彼らの行動方針は、自分自身の判断を一致した教会の判断以上に高めていることを示し、彼らは教会の声に反対する精神を助長することがないように注意して自ら慎もうとしない。教会で責任のある立場を占めている人々は、他の人々と同じ欠点があり、その決定には過ちがあるかもしれない。しかし、それにもかかわらず、地上におけるキリストの教会は、彼らに軽く評価できない権限を与えているのである。キリストはご自分の復活後、ご自分の教会に権限を委譲して言われた、『あなたがたがゆるす罪は、だれの罪でもゆるされ、あなたがたがゆるさずにおく罪は、そのまま残るであろう』（ヨハネ 20:23）。

教会関係は、軽々しく無効にすべきではない。しかし、キリストに従うと公言する人がだれか反対され、あるいは自分たちが当然だと考えているほどには自分たちの声が支配的な感化力を持たないとき、彼らは教会を出ると脅かす。たしかに、教会を去るとき、彼ら自身が最も大きな受難者となることであろう。なぜなら、その感化力の境内の向こうへ引き下がることによって、彼らは世の誘惑の満ちたところに自らをさらすからである。

信徒一人ひとりとは教会とのつながりに心を尽くすべきである。教会の繁栄が彼の第一の関心となるべきである。そして彼が教会とのつながりを自分自身よりも優先して教会に益するという聖なる義務の下にいることを感じないならば、その人はいない方がずっとましである。」（教会への証 4 巻 17, 18）

3. 雇用人の取り扱い

- a. パウロは、ピレモンに彼の道に迷った僕に関して、どのような訴えをしましたか（ピレモン 15, 16）。雇用主はこのことから、どのような原則を学ぶことができますか（マタイ 5:7; ピリピ 2:4; コロサイ 4:1）。

「助け手を雇用したあなたは、あなたの働き人たちも神の同労者となることができるように、自分の光が彼らに輝くようにしてきたであろうか。神はご自分の真理の光をあなたに送り、あなたに尊い特権と優位性を与えてこられた。だから、あなたはこれらの祝福を活用し、他の人々にあなたの憐れみを分かちべきである。」（キリストを映して 206）

- b. 慈善事業のレストランに助け手を雇用することに関して与えられた、どの勧告から学ぶことができますか。

「わたしたちのレストラン経営者は、従業員の救いのために働くべきである。彼らは働きすぎて、労働者たちを霊的に助ける力も意向もなくなるようなところに自らの身をおいてはならない。彼らは自分たちの従業員を霊的な分野に置いて指導するために自分自身の最上の力を捧げ、彼らに聖句を説明し、彼らと共に、彼らのために祈るべきである。」（原稿リ-ス 4 巻 285）

「すべてのレストランには、助け手の保護者として働ける人とその妻、すなわち救い主とこのお方がそのために死なれた魂を愛し、主の道を守る男女が関わっているべきである。

若い女性は、賢明で思慮深い女性監督者、すなわち完全に改心し、注意深く労働者とくに若い人たちを守る女性の保護の下に置かれるべきである。

労働者たちは自分たちに家庭があると感じるべきである。彼らは神の助け手であり、キリストがご自分の弟子たちの真ん中においた小さな幼な子を取り扱うべきだと宣言されたとおりに注意深く、優しく取り扱われるべきである。『わたしを信ずるこれらの小さい者のひとりをつまずかせる者は、大きなひきうすを首にかけられて海の深みに沈められる方が、その人の益になる』。『あなたがたは、これらの小さい者のひとりをも軽んじないように、気をつけなさい。あなたがたに言うが、彼らの御使たちは天にあって、天にいますわたしの父のみ顔をいつも仰いでいるのである』とこのお方は言われる（マタイ 18:6, 10）。これらの従業員たちに与えられるべき注意は、大都市に大きなレストランが一つあるよりは、小さいレストランがいくつかあるほうが望ましい理由の一つである。」（教会への証 7 巻 118, 119）

4. 雇用者と当局

- a. 聖書は、あらゆる種類の主人と雇用者に敬意を払うべきことをどのように教えていますか（コロサイ 3:22, 23; テモテ第一 6:1, 2; ペテロ第一 2:18-20）。

「取引に忠実であり、働きに徹底的でありなさい。いつもあなたの仕事を調べるのは雇用者の目ばかりでなく、あなたの生活のあらゆる取引を神の御目をご覧になっていることを覚えていなさい。神の御使たちはあなたの働きを見ている。そしてあなたの働きのどの部分にも真理と忠実さのしるしのあることが、あなたの宗教の一部であるべきである。」（教会への証 2 巻 78）

- b. 不信心者のやり方は、当局や法律に対するクリスチヤンの適切な態度と、どのようににぎわだって対照的ですか（ユダ 8; ペテロ第一 2:13, 14, 17; ローマ 13:1, 2）。

「いつも政府の役人たちによってなされることにあら探しをするのは賢明ではない。個人や組織を攻撃することはわたしたちの仕事ではない。わたしたちは自らを当局の反対の立場に置いていると理解されることがないように大変な注意を払うべきである。……

わたしたちは反逆を擁護しているかのように目立たせるやり方で働くべきではない。わたしたちの書物や言葉から、それ自体、法律や秩序に反対しているかのようだと誤解されるような表現はすべて取り除くべきである。……

わたしたちの兄弟によって不注意に語られたり、記されたりした非難的な性質をもつ不用心な表現が、敵によってわたしたちを責めるために用いられるようになる時が来る。これらは単に言葉を述べた人々を責めるために用いられるのではなく、アドベンチストの教団全体を責めるのである。わたしたちの告発者は、これこれの日に、わたしたちの責任者の一人がこのように言い、したがってこの政府の法律の行政に反対していると述べるようになる。多くの人々はどれほど多くのことが大事に記憶され、わたしたちの敵に議論の言い分を与えるかを見て、驚愕するであろう。多くの人々は自分たちが意図していなかった意味に曲げられた自分自身の言葉を聞いて驚くであろう。であるから、わたしたちの働き人は、いついかなる時にもあらゆる状況下で気をつけて語るようにしなさい。向う見ずな表現によって、人の魂を試す大いなる危機の前に、悩みの時をもらすことがないように用心しなさい。」（同上 6 巻 394, 395）

5. 模範的な態度

- a. わたしたちが誤謬の闇の中にいると思う人々の取り扱いにおいてさえ、わたしたちは、どのような態度に対して警告されていますか（伝道の書 7:9）。

「自分たちと違う人々に対して、軽率さや皮肉、あるいは嘲笑にさえふける者たちがいる。」（牧師への証 108）

「ある人々は、厳しく礼儀のないやり方で話し、他の人々の気持ちを傷つけておいてから、次のように言って自らを正当化する。『これがわたしのやり方なのです。いつもわたしは思った通りを話すのです』。こうして彼らはこの邪悪な品性の特徴を徳にまで高めるのである。……

不親切な言葉は語らずにおき、他の人々の幸福への利己的な無関心は同情と思いきやりに替えられるべきである。」（わたしたちの高い召し 229）

- b. 何が正しい態度ですか（テサロニケ第一 5:14, 15; テモテ第二 2:24-26）。

「自分自身のためばかりではなく、わたしたちを傷つけ、傷つけ続けている人々のためにも祈ろう。」（SDA バイブル・コメンタリ [E.G. 初刊・コメント] 3 巻 1141）

- c. キリストのご自分を迫害する者たちへの態度を述べなさい（マタイ 5:44, 45; ルカ 23:34）。悪魔に対するこのお方の態度はどのようなものでしたか（ユダ 9）。

「〔十字架上の〕救い主はひとことも不平をもらされなかった。……イエスをこんなにも残酷に扱っている兵士たちに対して、何ののろいのことばも出されなかった。目的の達成に満足気な祭司たちと役人たちに何の復讐も求められなかった。キリストは、彼らの無知と罪をあわれまれた。」（各時代の希望下巻 262）

個人的な復習問題

1. 教会とその指導者たちへの敬意は、何を伴いますか。
2. サウロに対するダビデの態度から、何を学ぶことができますか。
3. 職場におけるクリスチャンの厳粛な責任を説明しなさい。
4. わたしたちは、どのように当局に対立しているような様子を避けるべきですか。
5. 十字架上のイエスの態度から、わたしたちは何を学ぶことができますか。

敬神のうちに歩む

「そこで、あなたがたの歩きかたによく注意して、賢くない者のようにではなく、賢い者のように歩き、今の時を生かして用いなさい。今は悪い時代なのである。」(エペソ 5:15, 16)

「敬神の念を表わし、神に喜ばれるには、神の仰せになることに従うよりほかに道はない。」(教育 288)

推奨文献： 教会への証 1巻 521-525;
同上 4巻 628-648

日曜日

9月23日

1. エノクの経験

- a. 霊感、父祖エノクの霊的な生涯をどのように描写していますか(創世記 5:24 (前句); ヘブル 11:5)。

「密室で祈りなさい。毎日の仕事をするときにも、しばしば心を神に向けなければならない。エノクはこのように神とともに歩んだのである。黙祷は、恵みのみ座の前に尊い香のように上っていく。こうして、心が神にとどまっている人に、悪魔は勝つことはできないのである。」(キリストへの道 136)

- b. 終わりの時代に聖徒たちが昇天のために準備をしているとき、エノクの経験は、どのように神のご臨在への敬神と真の聖化を結びつけますか(創世記 5:24; ヨハネ第一 3:2, 3)。

「日ごとに〔エノク〕は自分自身の方法から、キリストの方法へ、彼の思想と感情において天来の者、神聖な者へと成長していった。彼はたえず、これは主の方法であろうかと尋ねていた。彼はたえず成長した。そして彼には御父と御子との交わりがあった。これが本当の聖化である。」(SDA バイブル・コメント [E.G. ホワイト・コメント] 6巻 1098)

「世界が水によって滅ぼされる前にエノクが天に移されたように、生きている義人は、地が火によって滅ぼされる前に天にあげられる。」(人類のあけぼの上巻 86)

2. 外面は内面を表す

- a. 神に平安のうちにお会いするために準備しているすべての人に、神が要求しておられる重要な外面を説明しなさい (出エジプト記 19:10, 11)。

「もし神が荒野を旅し、ほとんどいつも野外にいた人々にこれほど厳密に清潔を要求されたとすれば、囲まれた家、すなわち不純物がもっとよく見え、もっと不健康な感化のあるところに住んでいるわたしたちへの要求がそれ以下になることはない。」(健康への勧告 82)

「神はイスラエルの民に、ご自分が彼らの間を通られるとき民の不潔な様を見ることがないよう、衣服を洗い、宿営からすべての汚れを捨て去るようにと命じられた。神は今日、私たちの家を通られ、家族の不潔な状態やだらしのない習慣をごらんになる。一刻も早く、改めなくてもよいものであろうか。」(家庭の教育 97)

- b. この清潔は、何を象徴しますか(黙示録 19:8; マタイ 5:8; テモテ第一 5:22 (後句))。

「わたしは神がだらしのない不潔な人をクリスチャンとはお認めにならないことを見た。このお方はそのような者に対して眉をひそめておられる。わたしたちの魂、体、霊は、イエスによってこのお方の御父に汚れのない者として差し出されなければならない。そしてもしわたしたちの人となりが清潔で、純潔でない限り、神に汚れのないものとして提示されることはできない。

「聖徒の家は整然ときれいに、ごみや汚れやあらゆる不潔なもののない状態に保たれているべきであることを見た。わたしは神の家が、自分の子供たちに無頓着な親によって、またその乱雑さで不潔さによって神聖が汚されているのを見た。これらの事柄は公の譴責をもって対処され、もし真理を公言する人々にこれらのことにおいてただちに変化がないならば、宿営から出されるべきことを見た。」(セレゲッド・メッセージ 3 巻 273, 274)

「家の中に、不潔なままで顧みられない場所があると、そこに住む人の心の中にも、不純なままで顧みられない場所ができてくる。」(家庭の教育 107)

- c. クリスチャンの装いに関して、すべての一青年を含めた一信徒たちが理解すべき原則をいくつかあげなさい (テモテ第一 2:9, 10; テトス 2:11-14; 3:2)。

「衣服は思いと心の指標である。外面にかかっているものが内面にあるもののしるしである。」(思いと品性と個性 1 巻 289)

3. 心の指標

- a. 贖罪の本体の日に、衣服についてどのような厳粛な認識が、掲げられるべきですか（伝道の書 11:9; ローマ 13:14）。

「真理を心に得心した多くの魂が、わたしたちの姉妹たちによって示される世の誇りと愛着によって、真理に反対する決断へと導かれてきた。説教される教理は明白で調和しているように見えるが、聴衆は真理を取りあげるには、重い十字架が掲げられなければならないと感じた。わたしたちの姉妹があまりにも衣服を見せびらかしているのを見ると、これらの人々は次のように言うのであった。『この民はわたしたちとまったく同じように衣服をまとっている。彼らは自分たちが公言することを本当には信じていることができないのだ。そして結局のところ、彼らは欺かれているに違いない。もし彼らが本当にキリストがまもなく来られ、そしてすべての人の魂の判決が永遠の命か死に決定されると思っているなら、彼らは今の流行に合わせて衣服をまとうために時間や金銭を用いることはできないはずだ』。ああ、これらの信徒だと公言する姉妹たちは、自分たちの衣服が宣布している説教についてどれほどわかっていないことであろう！

わたしたちの言葉、行動、そしてわたしたちの衣服は日々生きている説教者であり、キリストと共に集めるか散らすかのいずれかである。これは笑ってすまずような軽々しいことではない。衣服の主題は、真剣な瞑想と多くの祈りを要求している。多くの未信者たちは自分が流行の奴隷となることを許すことによって、正しくないことをしていると感じている。しかし、彼らが信心を高らかに公言している人が、世俗の衣服のようにまとい、軽薄な社交を楽しんでいるのを見ると、彼らはそのような行動も間違っていないという決断を下してしまう。……

全天は、日々キリストの信徒だと公言する人々が世に及ぼす感化に注目している。わが姉妹がたよ、あなたの衣服はキリストと聖なる真理か、あるいは世のいずれかのために語っている。どちらであろうか。わたしたちは自分たちの及ぼした感化について、神に答えなければならないことを覚えていなさい。」（教会への証 4 巻 641）

「衣服の愛着は、道徳的な人を危険におとし入れ、女性を慎みと節度によって特徴づけられているべきクリスチャン淑女と反対のものにする。見せびらかしのけばけばしい衣服はあまりにもしばしば着る者の心にある欲を助長し、見る者の心にある低俗な情欲を目覚めさせる。」（同上 645）

「世は、狂ったように見せびらかしと流行と娯楽を追い求めている。放縦は、着々と恐ろしいほど増加している。なぜクリスチャンは自分たちの高い信仰告白に忠実であろうとしないのだろうか！」（同上 647）

「民としてわたしたちは教会員たちが自分たちの信仰と矛盾する様式で衣服を着ることを許してきた恐ろしい罪がある。わたしたちはただちに立ちあがって、流行の魅惑に対して戸を閉ざさなければならない。もしそうしないならば、わたしたちの教会は墮落することになる。」（同上 648）

4. 慎重な生活

- a. 長い間忘れられ、すべての時代のクリスチャンが培うべき基本的な特徴の根本となっている主題を説明しなさい (テトス 2:1-7)。

「わたしたちは危険な時代に生存している。セブンスデー・アドベンチストは神の戒めを守る民だと公言しているが、献身の精神を失いつつある。この神への敬神の精神は、人にどのように自分の造り主に近づくべきか—自分自身ではなく、造り主を信じる信仰を通して、神聖さと畏敬の念をもって近づくべきこと—を教える。こうして人はどのような環境の下に置かれても、しっかり守られる。」(レクティド・メッセージ 2 巻 314, 315)

- b. どのような言葉が真のクリスチャンを特徴づけますか (エペソ 5:17, 20)。福音の精神と対照的な今日の不敬な言葉の習慣をあげなさい (エペソ 5:4 (前句))。

「人間は、神を恐れなくなると、やがて、名誉と誠実からも離れる。」(人類のあけぼの下巻 203)

「どのように語るか気をつけなさい。あなたの受け入れた宗教をどのように表すか気をつけなさい。あなたは噂話や無意味なことを語るのに何の罪も感じないかもしれないが、これはあなたの救い主を嘆かせ、天使たちを悲しませる。」(クリスチャン教育の基礎 457)

「人の品性はほぼ正確にその人の会話の性質から推し量ることができる。……しゃれや冗談は安っぽい思いをもった人々を喜ばせるかもしれないが、この種のふるまいの感化は靈性にとって破滅的である。わたしはあなたがたに、階級としてまた個人として語る。あなたがたの言葉を見張りなさい。謹厳さと健全な常識が、あなたの会話の特徴づけるようにしなさい。つまらない冗談にふけったり、軽々しい会話の習慣を培ったりして身を落とすことによって、あなたの魂の純潔と高潔さをいい加減に扱ってはならない。……

愚かな言葉を語ることによって、あなたはキリストの御名を辱めてきた。なぜなら、あなたは品性においてこのお方を誤り伝えてきた。偽りの言葉、言い逃れや虚言の言葉は、このお方の唇になかった。十四万四千人を構成するものとして描写されている民は、その額に御父の名が記されており、彼らについて次のように言われている。『彼らの口には偽りがなく、彼らは傷のない者であった』(黙示録 14:5)。」(わたしたちの高い召し 292)

5. キリストのために証言する

- a. わたしたちの信仰について尋ねられるとき、答えるにあたって言葉の選択はどれほど重要ですか（箴言 15:23, 28（前句））。

「あなたは自分自身の信仰を他の人々に間違いなく紹介するために、それを重んじなければならない。教えと同様に模範によって、あなたは聖なる事柄をうやうやしく語り、自分の信仰に敬意を払っていることを示さなければならない。聖句を引用するときに、決してあなたの唇から一言も軽率で軽薄な表現が漏れてはならない。あなたが手に聖書を取るとき、自分が聖地にいることを覚えていなさい。御使たちがあなたの周りにいるのであり、もしあなたの目が開かれるならば、彼らを見るのである。あなたのふるまいが、交わっているすべての魂に、純潔で聖なる雰囲気があるあなたを取り囲んでいるという印象を残すようなものとしなさい。むなしい一言、軽々しい笑いは、魂を悪い方向へ傾けさせるかもしれない。つねに神とのつながりをもっていないとき、その結果は恐ろしいものである。」（クリスチャン教育の基礎 194, 195）

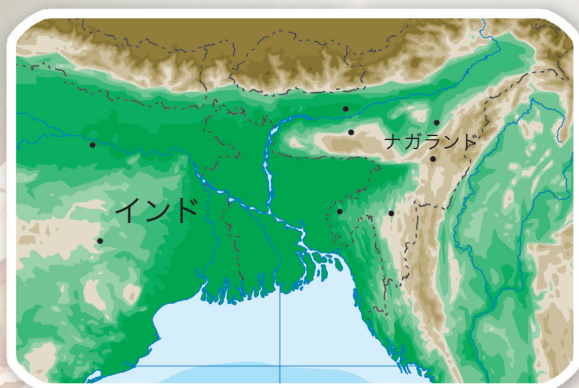
- b. キリストのために効果的に証言するための重要な点をいくつかあげなさい（箴言 15:33; コロサイ 4:6）。どのような証拠を示す準備ができていべきですか。またどのような方法によってですか（ペテロ第一 3:15）。

「〔ペテロ第一 3:15 引用〕。ここで言われている恐れとは、不信やあいまいという意味ではなく、賢明でない一言を語ったり、感情の興奮がまさって、好ましくない印象を思に残し、彼らを誤った方向へ傾けてしまうことがないように、しかるべき注意をもって、あらゆる点に用心して、という意味である。信心深いおそれ、謙遜、柔和は、神の真理を正しく表すためにすべての人が大いに必要としている。」（教会への証 4 巻 258, 259）

個人的な復習問題

1. エノクのどの特徴が、終わりの時代のわたしたちに関係していますか。
2. なぜクリスチャンにとって清潔がそれほど重要なのですか。
3. 敬神は、どのようにわたしたちの衣服や態度に影響を及ぼしますか。
4. なぜ軽々しい軽率な会話や冗談が悪いのですか。
5. すべての熱心なクリスチャンの証言を、どのような要素が調節しなければなりませんか。それはなぜですか。

第一安息日献金



7月7日

インド

ナガランドの礼拝堂のために

(4 ページ参照)

8月4日

伝道学校のために

(25 ページ参照)



9月1日

ウクライナ

アレクサンドロフカの教会のために

(46 ページ参照)

